

東日本リズム演劇会議機関誌

東リ演

- 創刊の前がき 黒沢 参吉
地方文化こそこれからの文化 こばやし・ひろし
'66年への展望・東リ演への期待
つくしの会
群馬中芸
でくのぼうの会
むぎの会
舞芸小劇場
弘前演研
京浜協同劇団
からっかぜ
名古屋演集
七の会
『書けない黒板』を観て 若尾正也
東西南北
運営委員会小報告
戯曲 傷だらけの天使 黒沢 参吉

1

1966年1月

開拓者の前に道はない

創刊の前がき 黒沢参考吉

機関誌「東り演」創刊号をうけとつていただきます。薄っぺらで体裁も粗末な冊子ですが、云えることは、これがまぎれもなく私たちの組織「東り演」によって産みだされた、ということです。

創刊にさいして、編集の衝にあたつた者の願望は、大きく二つにまとめられるようで、それを述べることにします。

第一のそれは、たゆみなく号を重ねて絶やしたくない、というこ

とです。

機関誌発行のことをおもひたつて以来、話をきいてもらつた仲間が異句同音にしてくれたのは、いわゆる三号廃刊の危惧でした。

それを、そうさせたくない願いは、させてはならない責任感ともどもあります。しかし、どう確信はまだありません。つまり、確信が不抜の根をはるために、まず刊行が継続され、それが有効であるところから支持協力される必要があるとしてもでしょう。

従つて、支持協力される有効な機関誌にしたら、といひのが第一の願望になります。

この願いを具体化するのは、はじめに考えていたほど簡単ではなじようです。ごく初步のこととして、機関誌のもつべき、一般演劇雑誌とのいわゆる性格の差異があります。すでに、機関誌について、東り演としての考え方を統一しておく方がよいかと思われる若干の、というよりあり少し大きめの誤りが発生してしまった。

たとえば、われわれの理論誌として充実した高い内容を求める声に、かりに対置すれば、各劇団の若い仲間が普段着で気楽に交流できるようなどいう希望があり、掲載戯曲についても東り演として責任のもので一定レベル以上のものをとある一方で、欠陥があつても東り演内で生産された作品は極力紹介し、全体の援助でその向上をはかりたい、と対応する意見がでています。

又、もっと根本のこととして、機関誌「東り演」がはたして、われわれの連帯の基礎である答の、創造をたかめるという点でどう武器になりうるのか、という疑義もだされてきました。

これらの要求と疑問にこたえるには、編集上の技術や経験が必要ですし、その面での検討と研究が事前に要請されもします。

しかし、第三回総会で決められた六六年一月を、あえて創刊の期としてふみきつたについては、「東り演」の発行そのものも、たとえばわれわれがおのれの拠点に劇団を結成し、その集積した力をよりどころに舞台をつくりだしてきただしたこと同様、処女地に開拓の歩をふみこむことであるからです。磐石の保証は、われわれのうしろにでまる道を意味します。

この機関誌を自分のものとしてうけとめていただきたい。編者として、この機関誌を自分のものとしてうけとめていただきたい。編者として、東り演としての考え方を統一しておく方がよいかと思われる若干の、というよりあり少し大きめの誤りが発生してしまった。

命を打開しわれわれの事業の有効な武器にそだつてらくでしゃう。

地方文化こそ

これから文化

とばやし ひろし

東り演は専門劇団の組織ではない、地方劇団の組織である。しかも、運動の主軸に創造を中心にして集つた組織であつて、新劇人會議とか、劇団協議会のような組織と趣を異にしているのである。

そして、これに加盟してゐる地方劇団は、創造的弱さはあっても、それぞれの地方の文化運動の推進力にならうとしている。創立総会において、地方に拠点をもつ、拠点文化の創造が熱っぽい形で論じられたが、これは、今日でも各劇団の胸の中に焼きつけられてゐるといつていい。即ち、各劇団とも、劇団の大小は別として、この組組に大きな期待をかけていることは事実だし、今後に於いても、東り演の果す役割は、さらに大きくなるものと若えてゐる。その点については私は自信をもつてゐる。

しかし、東り演も創立三年に入るが、熱っぽさだけでは組織の發展は考えられない。私はこの際、われわれが受けもつ地方文化といふもの整理し、目的意識を明確にするのは必ずしも無駄ではないと思う。

地方は、どこへ行っても「文化不毛の地ですよ」といわれる。そういうことを云う本人は別の人間であるが、たしかに地方文化を生みだす社会的条件は極めて貧困であるといわねばならない。とくに戦前の天皇制政府の絶対主義的な中央集権制の下に於いては伝承文化さえ荒廃させられたのであるから新しい文化を創造する条件

件なんて、全くなかつたと云つていい。天皇の神格化、絶対化の思想が、見事に創造の芽をつみとつてしまつたのである。その点では何も地方文化だけではないが、中央の文化の場合は、その思想的規制の中で泳ぐ条件をもつていた。もちろん、その泳ぎかたに問題はあるが、それは後でのべよう。しかし、地方文化の場合には泳ぐことはもちろん、違うことさえできなかつたのである。なぜなら、地方文化は今日でもそうだが、大衆との結合が中央に比べ、より直接的だからである。また、それ以外、地方文化は生きる条件がないのだ。

ところがそうなると、文化が現実の反映である以上、当然、その地方の社会的矛盾を結実させる。即ち、地方は中央集権的であればあるほど、政治的、社会的矛盾のしわよせが大きく、それが厳しく文化に反映してくるのである。それを天皇制政府が許すはずがない。戦前にもをつた綴方教育とか、生活作文や詩の運動は、すべて圧殺され、ただ、俳句や短歌だけが根をはつて行つたのである。

その点で、地方文化が新しい創造を求める条件をもつたのは戦後である。今日、地方文化の中で大きな役割を果してゐる労演や労音のような観賞組織から、われわれのような自立劇団、すべてが戦後の產物であるのはそのためである。しかし、戦後になって、すべてが解決したというはとんでもないことでをつて、たゞ、天皇制の思想的規制がなくなつたということである。ところが、これがはずれただけでも、地方に無数のサークルが生れ、運動となつて急速な拡がりを見せたのであるから、天皇制といふものがいかに地方文化に大きな障害となつていたかがわかると思う。

その点で、戦後の地方文化を考える場合、サークル運動から分析

しなければならない。このサークル運動を二つにわけることができる。一つは労演や労音のようだ、一般的の商業ベースでは到底受け入れることのできなかつた中央の文化を、サークルを結集させ迎え入れる組織と、われわれのような、文化創造集団である自立劇団や合唱団、絵画サークルのようなものである。とくに後者は、戦争が終ると同時に生れたと云つてもいい。即ち、戦時体制からほりだされた所において、始めて自分で発見し、社会的自覚に目覚めたことが一つのより所となつて発生してゐるのである。だから、これが地方の文化運動の主体となつて最初立ったことは当然である。云うなれば、人間変革と社会変革を求めてサークルをつくつたのであるから政治的要求を強く表面に出していく。しかし、このサークルがサークルの枠の中に存在しているだけでは現実の矛盾は何の解決もたらさない。せひせひ仲間意識で終りである。サークルに求めた社会的自覚がサークルの役割を果すのは、社会の現実を変え、前進させているという力で、各々サークル員が体で自覚しない限り、即ち、サークルの社会的意義を自覚しない限り、自己の変革の連鎖反応は起きてこないし、そのサークルに新しい矛盾が生じてくるのである。ところが現実はそれほど甘くない。思うよにならぬと、停滞どころか、挫折すら現われる。「若い時にはやむたいことをやることもいふことだよ」と悟つたような捨せりふを残して去つて行く人もいる。これは、そのサークルに社会的な説得力をもちえないから、存在の意義を体で掴みかねてゐるからである。大衆を唯一の支えにしているサークルが大衆に対する説得力をもちえないとすれば、現実変革どころではない。サークル内で自己満足してゐるうちはいいが、満足できなくなつた時破産するのである。こういうサークルは

労演といわば、創造団体といわば同じことであり、それで行きつまつてゐるサークルが実際に多いことを忘れてはいけない。どうことは、それをのりこえたサークル 私はこれを単にサークルと云いたくなつ。むしろ、文化創造集団と名づけたいだけは存在価値を自覚し、新しい地方文化の芽となつて來ているのだ。これは新しい自己の発見であり、それが続きうるエネルギー源なのである。だから東り演が創造を運動の中心に考えて組織されたのも、こういう情勢を背景にしてゐると云つていい。

これは歌ごえ運動を見てわかる。一時爆發的を拡張を見せたが、それが落つきを見せ、または身動きできなくなつたサークルも生れ始めた。こゝに当然、創作の必要が痛感されだしたのである。即ち、歌つておれば満足できた段階から、自己の人間創造と連つた所に文化創造の必要を自覚し始めたからである。まだまだ創作の姿勢は弱いが、これからこそ「歌ごえ運動」は、大衆の生活と密接に連り、大衆を改めて引きこむ力を蓄積するだろうと思う。

こうした世界観の統一から、さらに創造の発展へと飛躍する場合どうしても必要なのは、創造的指導者である。この指導者をサークル内で生みだせるか、どうかが、今後の地方文化を発展させる鍵になつてくる。何しろ地方文化は今日まで無に等しかつたのであるから、そこに指導者を生みだすことは極めて困難な仕事である。しかし、これを創らねば発展は約束されない。(断つておくが単なる活動家だけでは、創造団体の創造的指導者になりえない)こゝに、今日の新しい壁があるのである。

だからと云つて、中央に活動の場をもつてゐる人が地方に活動の場を移しかえてくれるなんてことを、私は余り期待しない。もちろん

ん、彼らの中には東京文化の世紀末的感傷から、地方に目をむけてくれる人もあるかも知れない。しかし、そんなナロードニキ的な感傷で地方文化が何とかなるなんてことはあつたましいし、また、地方性を尊びたいという心情の中には、中央集権的な權威主義が存在していることを忘れてはならない。思想的にも、地方文化が、その地域に連つた拠点文化にならなければ、単に東京文化の拡散にすぎなくなる。

中央の文化は天皇制の思想的規制の枠の中でも泳ぐ条件があったと前に述べたが、云うまでもなく思想的規制に満足しえなくなつた小市民的知識階級が、外国文化に、その慰めの場を求めてからである。そういう大量の知識階級を相手に日本の近代文化は云々かえれば中央の文化は発展の場を与えてくれたのである。即ち、日本の近代文化といふものは大衆を基盤にせず、外国文化のみにアンテナを張つてつくられて来たものと云つていい。だから、日本位、翻訳文化がさかんな国はない。私が訪中報告を行うとき、知識人からよく質問されるのは「外国文学はどの程度翻訳の自由がありますか」ということである。翻訳が文化の基準になつてゐるからである。魯迅が「中國民族に必要なもの以外翻訳の要はない」というようなことを云つてゐるが、考え方の言葉である。こうしてみると、日本の近代文化は本質的に植民地文化といわれるのも無理はないわけである。だから、外国で有名になることが、逆輸入されて日本で有名になる。即ち、日本文化の基準がない。ヨーロッパによって基準が与えられ、大衆の要求が基準になりえない浮草的文化といふことが云える。こういう外国文化の下請的文化の様相を多分にもつてゐる所に、今日、民族文化の必要性が云われる最初の出発点があるのである。

ん、彼らの中には東京文化の世紀末的感傷から、地方に目をむけて

くる。

ところがありがたうことにして地方には、いい悪いは別にして、中央に比べるとそういう条件が弱い。それだけでなく資本にもマスコミさえにも依存できない地方文化は、知識階級のみでなく、労働者、市民すべての大衆と直接的に結合する以外生存できない。これは前に述べた通りである。これが、今日、運動としての強味を發揮し始めたといつていゝ。そういう地方的条件を無視して、地方文化の運動の法則も掴みかねない人が、地方文化の後進性に同情を寄せ、指導を与えてくれたとしても、一定の役割を果しうるか知れないが、それ以上は混乱しかかりえないとと思う。

これは労演の場合も同様である。労演といふものが、運動を基礎に地方文化の閉鎖性を破つたという意味で極めて大きな役割を果した。しかし、大衆と直接的に結合した運動の上にたりたつ以上、知識階級に依存した中央の文化が刺戟にはなりえても、満足できなくなることは当然である。こゝに労演、労音から、大衆に基礎をおいた民族演劇、民族音楽の要求が生れてくるのも無理からぬことである。この民族演劇といふことについて、賛否両論さん問題を掲起しているが、なかなか定着しえないので、日本の近代文化に、その伝統がない所から來てゐるといつてもいい。こうしてみると、民族文化と地方文化の関係は密接であり、私は何か、地方文化の創造的発展をくじて、民族文化は定着しえないのでないかとさえ思う。

民族文化の問題は、日本では何度も何度も論じられて来ている。一九五一年、サンフランシスコ条約が結ばれた前後にも、「国民文學論」「國民演劇論」がさかんに口にされた。歴史学研究会や、日

本文学記念なども、「民族と文化」「民族と文学」をテーマに論争した。「山本國一様」や「政團祭」はこゝした中で生れて来た。ところが、大衆の斗争と結びつくことのないことをする兩者が、少なくなく、芸術的説得力のある作品はついて生れなかつた。

それが、一九六〇年安保斗争以後、再び民族文化の問題が提起され、来て来たのである。この一九五〇年と一九六〇年をみてみると、前者は、朝鮮戦争を契機にアメリカ権力の保護の下で、日本の支配機構が再組織された、いわゆる速コースの時代であら、後者は矛盾を激化させつゝも、アメリカの極東軍事警備は深刻化し、日本の役割は一層強められて来た時代である。注目すべきことは、共に社会党

の左右の分裂、共産党的内紛をもたらしてゐるということである。それは支配権力の壁が厚く、革兵陣営に動搖を与えたものと考えて間違ひない。こゝした民族支配の輪が強むられるようになると、民族を見直すとする動きが出てくるのは当然である。そういう場合、民族支配の文化的武器は何であるかと云えば、コスモボリタニズム、文化と個人主義であることは、過去の歴史が示してくれた通りである。こゝに始めて、抵抗としての民族主義が、また、民族文化が生れてくる筈なのである。この民族主義は、かつての帝国主義的民族主義のように神国日本二字で示されたような民族の優越を上から組織したるものではなく、民族の尊嚴と、民族の主体が自覚された所に生れる。自發的創造的ともと云うことが云えるのである。即ち、本の民族主義なのである。

ところが、長い帝国主義的民族主義が戦後において清算されないまま再び加害者としての立場をとりどつゝある所に、アメリカの民族支配を民族の危機と意識しない大きな盲点があるのも、同時

に、海にのった、日本の近代文化——これは神國日本、八紘一宇が呼ばれた戦争中も生き残ったのを見ても、帝国主義的民族主義の玉骨のなさを露骨に現してゐる所と云つていい。——が本質的に大きく、芸術的説得力のある作品はついて生れなかつた。

これが、一九六〇年安保斗争以後、再び民族文化の問題が提起され、来て来たのである。前 基準を求めるのは、何も東京の文化だけではなく、私も含めて、地方の小市民的知識階級すべてがもつてゐる弱点である。この隙に乗じて、モンキー・ダンスとか、その他低俗な無国籍文化が氾濫を極めているといつていい。

☆ ☆ ☆

大量の小市民的知識階級を存して発展をとげた、中央の文化も一 地方に於いてはそれはとまどひでしかない。地方の労演にしても、一 自立劇団にしても、労働者を中心とした大衆に結合して存在していくからである。こうなつて来ると、われわれ創造団体である地方劇団は東京で生産された既製脚本のみで繁存できなくなつて来る。それと併せてなく、既製脚本に対する不信が生れて来るのである。それは本のいゝ悪い問題ではなく、われわれを守つてくれる地域の大衆の要求に応えうるか、いかの問題である。こうして、戦後政治的要請のみ強くかゝげていた地方劇団も、創造的その政治要求を発展させるためにも、地域の要求を応えうるためにも、創作劇を生み出す必要を感じ始めて来たのである。創造的な弱さを否定することは出来ない。但し、無から出発した地方文化がここまで到達したことを考えなければならぬ。そして、この地方文化こそ、大衆とにかく統合して、生存を求めてゐるのである。そしてこの大衆こそ、民族の危機を意識するしないにかかわらず、民族支配、権力

支配の最大の被害者の立場にある人々である。民族文化が論ぜられるとしたならば、これらの人々と結合する地方文化の発展なくしてそれは空論といふことができよう。

こうした地方劇団の創造を、労演がこれを守り育てようとしている。地方劇団の創造が一定の力をもてば、中央劇団にはねかえり、その地方文化の厚味の上に立って、より質の高い文化を生みだし、われわれに影響を与えてくれるに違いない。こうして、始めて、ヨーロッパ文化の下請的役割を果した中央の文化が、日本の文化の代表的役割をもつことになると思う。こうして考えてみると、東西り演の役割は、まさにこれからであり、無限の可能性をもつていると信じていふ。

但し、中央文化への不信が、全面的否定となり、対立によつて自己の存在を主張することは無意味である。地方文化をいたう指導的な人々も、小市民的知識階級である。自らの主体を確立することの焦りが、中央文化への意識的な対立となつて現われる。「何を、誰に」ということが、もつとも大切なこととして論じ合われるのも、地方文化の主体を生もうとする努力の現れといつていふ。しかし、それは創造でなければならぬ。それなくして、対立は没交渉

となり、われわれの創造を強める力につまでもなりえないとと思う。われわれはまだまだ学ばなければならない。学びとらなければならぬ。これは、もちろん東京文化の無原則的な拡散ではない。

私は最後に改めて云いたい。東日本リアリズム会議は、「創造を運動の主軸」にすえた団体である。現実認識と、世界観の統一のみに終つてはいけない。それを創造に高めなければ存在の意義がない。前者は創に容易であるが、後者は容易でない。こゝに組織の一切をかけなければならない。兄弟劇団とコトバで云つても、創造の問題を鋭く分析し、メスを入れ合うことは容易でなく、創造を素直に学び合うことは簡単でない。それなくして、世界観のみをしかめ合う場であるならば、それはサロンと変わらない。

第一回の創作部会で「部品」が、第二回の創作部会で「人間がたたかう時」が高く評価された。それは創造めきの評価であった。それだけが創作部会でさうはサロンでしかなくなる。これを突破した時、東り演は「創造を運動の主軸」にすえた団体組織になり、地方文化の大きな推進力となると私は信ずる。それと同時に、民族文化を定着させるためにもつとも大切な組織であると云つていふ。

66年への展望・東り演への期待

◇ 劇団つくしの会（富士宮）

劇団は66年が創立15周年になります。

私達は児童演劇の創造を中心に発足し62年の
破戒の創造の中で労働者大衆の要求にも
こたえる創造集団になろうと努力してきました。

創立15周年の活動は、大きく分けて三つに
なります。

児童演劇の仕事を掘り起こすこと（まちがい
なく現実変革の思想をいかにプロセスするが
という問題にとりくみたいと思っています）。

「手鬼退治」「カレドニヤ号出帆す」「まつ
かつかの長者」などの創造を軸に地域小中学校の巡回上演、また小学生や子供を対象にした、子供会形式の演劇行動隊の編成（3・4名一班システム）。

児童劇の動員には家族単位、親子単位で普及してゆくことを具体的に計画中です。

それから労働者の要求にこたえる

ガックリ深くスカッとした青年労働者のド根性を描いた作品を創り、ひとりぼっちになりがちな大衆の心の窓をゆさぶっていきたいと思っています。この創造の中で劇団の仕事の一つの典型を探ります。

また富士宮に古くからある「祭ばやし」を

素材にした創作も準備中で66年には劇団の劇作家を育てていかなければいけません。

あとひとつは、劇団のあゆみ（目で見る劇団つくしの会）を展覧して広範な大衆に呼びかけていく仕事です。

活動家の数が他の集団に比べ少ないの一

人2役3役になるのが現状ですが、第一期生が9名劇団に全員加わり、二期生の募集にはさらに奮斗しなければとかくごしておられます。66年は劇団にとって、新しく一章が加えられる年になるべく東り演諸集団の指導をお願いいたします。

東り演への期待／提案

「第5回全団ゼミナールで提案いたしました
新しい活動家（あるいは期生）を中心にして
た集会を定期的に実施してほしく。
東り演の創造理念に立脚した集団指導こそ
各地方に拠点を持ち演劇創造に奮闘してゐる
我々の戦列の期待される人間像に欠かすこと
などができないと思ひます。

一、東り演加盟の諸集団の現実変革に立脚した
戦的創造に比べて私たちの集団は、その
創造活動を「そのまま」学びとれません。
もちろん、私達の創造と普及の典型は東り
演の磁場で斗つたのですが、加盟集団の多
様なコースを統一体に高めると同時に広く
深い指導がほしく。

一、東日本に於ける民主的民族的文化、演劇運動のかがり火である東り演の創造をともに斗いとりましよう。

◇ 劇団群馬中芸

財政面の確立をはかり、稽古場と宿舎を作
りすぐれた舞台創造を行う等々、今年行いた
はさやきにみちはさやきにみち」の三本のレバを上演出来
る体勢にあります。この三本を持ち「ひとり
っ子」を中心として今年も上演を続けていく
予定です。

昨年の十月に「ひとりっ子」の舞台を完成
し、現在「チャーホフ劇場」と「われらの街
にあたり、一年目の遅れをとり戻すことと、
計画達成時に持つ予定の本公演の準備にとり
かゝらなければならない。平行的に児童劇、
高校巡演用レバ、演技基礎の為の勉強会など
を行わなければならぬ。行なわなければならぬので大変だとは思
いますが、予定通り二ヶ年計画を達成して、次
の段階の計画に突入したいと考えています。

これを実践出来るかどうかはすべて今年の活動にかゝっている訳です。

日朝条約の問題 アメリカのベトナム侵攻など日本を含むアジアの情勢は緊迫し、それに準じて国内情勢も軍国化しつつある中で、益々民主的・文化活動の必要度が増してきて

◇ 演研でくのぼうの会(名古屋)

の意味で、劇団綱領にかゝげてゐる、撲滅文化の確立を目指して今年も活動を続けてゐくつもりです。

主的・民族的演劇運動の本流に流れこむこと
——東り演加盟——として活動を開始し、結果
は多くの成果をもって一五〇〇人の観客動
員に成功しました。そして、名実ともに東り演
の仲間たちとスクラムを組むことができる
ようになつたのです。

共に困難に立たれておられます。困難に立たれたる程、民主的な団体との結合を深め、この運動を充分理解させる中で確保してゆき、出来るだけ多くの働く人たちと接してゆかなければなりません。そして舞台を通して劇団の主張を訴え、新しい物の見方、適確な判断力を観客に教つてもらひ、職場、地域で活動してゐる労働者を勇気づけてゆかなければな

りません。
この主張を正確に伝える為の演技技術、これは劇団にとって最も重要な課題です。この向上を常に心掛け、果してゆかなければならぬません。

劇団内部の問題だけでも今年果せなければならぬことは無数もあり、その中で発展し生存競争に生き抜いていかなければならぬ。それ故、情勢の惡化とマスコミ攻勢を高まりに對して、舞台創造を高めて斗らう以外にありません。

東より西の横の地带を強め、共通の課題を持ち、それぞれの地域で独自の活動を進めることが、より大きな可能性を生み出してゆくことになると思ひます。私たちの団体ではそ

今年の東京演劇合同ゼミは「でくのぼうの金（以後でく）」に決定的影響を与えた。民主的・民族的演劇創造のために、多くの仲間が自分の一生を賭けていた姿に接したことです。それまでのでくの活動は、幅広く地域に根をおとした地域青年文化運動を演劇を通してやつていて、一定の成果をあげていました。しかし、演劇でもって社会変革のために役立てようとする徹底した考え方方が、指導部

券みの第一段階は「地ならしの時期」（結成、一九六二年）で、リクリエーション中心の同窓会的サークルから演劇集団として出発して第一回公演会をもちました。

第二段階は「基礎打ち時期」（一九六三～一九六四年）で、この三年間は演出、演技技術の研究、青年労働者との結びつき、地域との結びつきなど、広範囲な活動が行なわれました。

分にも不充分でした。それが二日間のセミナーを通じて、名古屋南部で責任をもつ團として成長することが、でくにとつては基本的任務であることが明確になりました。帰りの車中での運営委員会で、東京演合団から、いわに学ぶかを四回にわたって総合で行なうことを決定し、その討論の中であらためて今年初めにたてた「剝離化への五ヵ年計画」と、「規約、でくの歴史」を学ぶこと併せて行なうことが決められました。この

討論の結果、「キニーボウのをもる街」をレバ、として決定した訳です。上演の意義は、(1)アリズム演劇確立のために(2)やる方もみる方も公演を通じて生き方を考えること、(3)民

発足してから今までの活動の典型である「九六五正」の活動を要約すると、私たちがめざす地域（名古屋南部）で、青年労働者を中心とした全住民と共に「民主的・民族的演劇運動

文化運動が、「南部青年劇場」、「霞光」、「キュー・ボラの有る街」で定義したところと
とかであります。しかし一年間をふり返ってみると弱点としては専門的な演劇研究が不充分
であり、それは「五カ年計画」の二年目の大きな課題となるわけです。

一九六六年の活動計画

こういう私たちにとって、一九六六年という年は極めて重大な意義をもつています。飛躍的發展と見える一九六五年に成し得なかつた課題を達成して、「五カ年計画」を実現に一層前進しなければなりません。

まず第一に、古典劇、近代劇で演劇創造のレベルを高める課題があります。その結果の中で、豈かの評議、深みのある舞台創造を生み出していくなければなりません。この一環として、私たちは一九六五年度から会内演劇教室を開設して、歴史、名演劇の合評と学習、パックの學習を進めていますが、さうしてこの内容を高めていく必要があります。

第二に、私たちのセンターであるけじこ場を借りたり、地元の工場の好意で二階を使わせてもらったりしてやってきましたが、それにも限界がきていましたし、やはと何としても私たち集団の場所を建設することが急務となっています。そのためには準備委員会を設け、具体的に取り組んでいかなければなりません。

第三に、現役労働者を主体とした会員を拡

大する課題です。

一九六五年には、会員三十人

要な活動であります。ではこの中核となっ

て、四回、五回と発展させていく任務があります。子供劇場は、一九六四年に一度行なつたときになつてますが、「キュー・ボラのあどん仲間としていく必要があるのですが、労働者立場につづ私たちの演劇運動をより強固をものにしていくためには、どうしても労働者としている必要があります。

会員のもつと多くの結集が不可欠のことになります。ありとあらゆる機会を通じて、働く仲間に広く呼びかけていかなければなりません。ものにしていくためには、どうしても労働者としている必要があります。以上、やや散漫に書き並べましたが、私たち一同、新たな決意で演劇運動を進めてゆります。ありとあらゆる機会を通じて、働く仲間に広く呼びかけていかなければなりません。

以上の課題の実現につとめつゝ、私たちの公演活動を、より多くの観客と共に実践していきます。そこで、大まかに分けて、年二回の本公演と、小公演活動があります。春の木公演には、日・ロッパ・古典劇をとり上げようと、すでに不完全ながら「モリエール研究会」も、準備といり兄弟劇団の結集体であります。私たち一同、新たなる決意で演劇運動を進めてゆります。ありとあらゆる機会を通じて、働く仲間に広く呼びかけていかなければなりません。

文責 拓殖洋（代表者）

演劇研究会「でくのぼうの会」連絡先

愛知県名古屋市南区大曽根通り三の十二

栗木方

◆ むぎの会（新潟）

それから、こゝ一年間ぐらいために活発化してきましたが、その

これまでの密接な結び

つきの上からも非常に大切なものです。系統的に進めていますが、その中心は南部青年劇場と子供劇場であります。南部の民主的文化サークルが結束して行なっている青年劇場は、他の民主的集会に参加して行き、働く仲間に広く存在を示し得た年と言えるでしょう。

(1) それで66年への抱負ですが、先ずハタピラキ（未来の市民）を皮切りに原水禁その他をらゆる機会をとらえて出演したいと思います。单身朗読参加の形でも良いと思います。それから今秋から冬にかけて予定された「巣ばなれ」地方公演が一回しかできなかつたので、来春もう三回位やりたい。それで五月頃まで「巣ばなれ公演」が活動の柱になるとと思われます。地方巡演の最後にもう一度新潟でやりたい考えもあります。

その頃までに現在一桁の実勢力がどう変わっているかによって次の秋の演目が最終的に決まって来ると思われますが、今のところ「カンカラ広場に集まれ」が有力で、事務局では既にガリ切りを開始しました。「カンカラ」に決まれば八月、静岡訪問というところなるかと思ひますが、そうなつたら静岡の皆さんよろしく、来年「カンカラ」に成功すれば「俺たちの夜」次は「河」だ、てなことを言って悦に入っている芽出たい野郎もいます。

兎に角冗談にもこんな事を云えるようになつたのは直接には京浜のひいては東り演の援助の賜物で、東り演へ加盟したという誇りと責任をひしめく感じ、一時的にそれがせりとなつて表わされたこともありますが、しかし兎に角東り演の存在が我々の大きな精神的支柱になつてゐることは確かです。

来年のゼミ、総会には何らかの成果をたゞさえて必ず出席致します。

今、一つ問題になつてゐるのは市の劇団協議会でハバロフスクへ文化使節団を派遣する話が持ち上つてゐることです。運営委では協力をすることを決めましたが、どんな形で協力をするか更に検討を加える必要があると思います。

(2) 東り演への要望
プロックセミ・交流会等をもう少し多く持てないか。

◇ 舞芸小劇場（東京）

私たちの「黙秘」はこのよだな情勢の下で

第四回公演に「黙秘」を上演し得た劇団としての誇りと勇気を今後の活動にうけ継ぎ、年度への抱負である。

卒直にいって、上演し得たという結果をもたらした行動は、各方面からの賞讃もさることながら、自らも評価しなければならないと思う。

65年の社会情勢は、国際的にはアメリカ帝

國主義の中国封じ込め政策がますます露骨になり、東北アジア軍事同盟の強化をねらつてペトナム侵略は北朝にまで拡大された。しかし、アジアの平和勢力の前にいたずらに犠牲を出すばかりとなつた彼らは、日本と韓国の抗議斗争の中でも逮捕者が出て、またその他に、争議中の労働者に対する弾圧でも多くの組合で逮捕者を出した。が、みんな勇敢に斗つてきてゐる。

朝鮮侵略戦争の時期、反戦、独立、和平を要求して斗う共産党の崩壊を目的に、共産党員による列車転ぶく事件をでっちあげる権力本質の卑劣な謀略に対し、獄中斗争の武器で抗議斗争の前夜に幕があげられたことの意義

しかし、それと同時に、上演に参加する者

の不安もまた他の作品の上演の時に較べて一段と深刻なものであった。早い話が、入場券を職場に持ちこめたい人や、プログラムに以前より芸名の者がふえるなど、警戒心がただよつていた。しかし、この不安感や警戒心も憲法擁護、改悪阻止に基本的につながるこの舞台の果す役割の大きさに奮い起されたいく過程で克服されていき、千八百名動員の成功を可能にした。この間、体験者をはじめとして多くの人達の激励が力となつことは勿論である。

しかし、今後も私たちが眞実を追求し、変革を目指して演劇運動を開拓していく過程でかって先輩諸氏が天皇制国家権力から受けられた多くの迫害に匹敵する、あるいはそれ以上に直面する時期が到来しないといふ保証はないし、反動陣営の狂暴化は自衛隊、警察機動隊の実戦的出動をもつて民主勢力に立ち向かわせなくてはいけないであろう。三矢作戦の銃口は舞芸小劇場を、東り演をその照準から除外するという保証はない。これは、誇大妄想でも被害意識でもなく国際情勢、国内情勢がその危険性を教えてくる。私たちがこの事実に対し如何に武装すべきかを課題とする時期はそう遠くのことではない。

私たちは「黙秘」を上演し得た勇気と、变革への確信をもつて新しい年を進む決意である。

活動計画

①組織

人員拡大→年度内に30名の劇団とする
専従者設置→年度内早期に1名設置

後援会→後援会設立準備会の結成

②公演

定期公演→文芸部員による多幕物（創作中）
移動公演→自主的形態（劇団の小品上演を目的とした集会）

協力的形態（他の出演団体との協力出演を目的としたもの）

③教育（特に思想の統一と創造技術の向上を中心とする年間スケジュールを作成する予定）

思想・演劇活動を運動として、認識を深める技術・普及を保証し得る創造技術の向上を修得する。

④対外交流

全般的文化運動興揚への積極的参加・協力

地域内に於ける演劇創造への協力・援助

地域内民主組織・活動家との交流・共斗

◇ 弘前演劇研究会（青森）

「東り演」の先輩たち、毎日の演劇活動、

その活動を通しての、厳しい、戦争反対と平和を守るためにの斗争、御苦労さまであります。私たちへ弘演研も、十月、「東り演」加盟承認にて、また将来専門劇団の加盟を期待しながらも敢えてこの現状に注目したり。

何故かといふと、ここには政治と文化の関わりあいについて階級的に正しく結合させ得る客観的条件があると思われるからである。しかも東り演加盟各劇団は、演劇活動を交換

の理念として認識し、観客の思想統一・組織

を目的とする主体性をもつて会議に結集している。このような客観的条件のうえにたち主体性をもつて進む前途には大きな可能性が予想される。すでに東り演発足三年にして倍数となつた加盟劇団の現時点までの活動はそれを証明している。

しかし、全体として発展の方向を進みつつあるのは事実であるが、各劇団の構成・経験等の格差から、また地理的遠隔や多忙さ等から生じる交流の薄さなど、眞の仲間意識に立った相互批評・研鑽の体制はまだ出来上がってはない。機関誌の発刊を機会に、機関誌上は勿論のこと、各ブロック単位でも結構、向上を目的としたキタンのない意見を交換できる関係をつくりあげたいものである。

へ、十一月トバされました。併し、彼は川内での五ヶ月の間に、川内演劇研究会を、地域の主婦を含む十五人の仲間と共に発足にこぎつけました。また、会員である学生は、弘前大学の演劇部を再建しました。

我々の演劇運動の目的を踏まえれば、ふえるほど、「アカ」呼ばはりされ、攻撃の手は強まります。不当配転という敵の手はこのままでは終らないでしよう。併し、我々も急速に味方である労働者の支持が強まっていくことも事実です。演劇の工の字も興味なかつた、市役所の女性、全農林の男性たちが、闘芸の「小妻」の活動では、夜八時九時と商店や、一般家庭に工作に入りました。

我々が県命に頑張って演劇を通して労働者を励ますことができれば、労働者も我々を支持し励ましてくれる関係の中で、66年の活動はいつそう厳しくなるでしょうが、また、我々生活の権利を斗争とする、何歩かの前進は得られる確信をへ弘演研へは知りました。

四、「東り演」参加にさへして我々の反省「東り演」参加決定は、第二回の総会で認めおきながら遅れたのは、事務局に問題ありとして、十一月に、「東り演」係一名を決めました。同時に、1月大会資料をもとに、テキスト「東り演」を作り学習を始めました。そして誰かを代表としてみたいでなく、一人一人が直接参加するようながたちで参加するのだと確認していました。

弘演研の総会は来年一月下旬にもたれ

ますので、具体的な66年のプログラムは、総会後報告致します。ただ、公演主義にならぬよう、もっと地域文化運動を考えること、また来年目標の弘前労演結成に、会員みなが中心的に精力的にとりくむこと等は、公演反省会の席で話しあわれています。

弘前はもう根雪になり、痛いような寒さで太陽が遠くなりましたが、活動は休みなく続けます。不充分な報告に終りましたが、「東り演」に結集している、沢山の仲間に「新年の挨拶」をへ弘演研からおくって筆をおきました。

文責 作間 雄二

(演出部)

63. 3. 20 / 創立総会。規約、会費、研究例会等を決定する。25名参加。
5. 19. / 第一回クリエーションとして、碇ケ闕温泉へ。21名参加。
6. 16. / 三沢基地撤去大集会に10名参加。
10. 16. / 中弘南地方労文化祭にてシユブレヒコール「二六五九一一」を上演。
10. 2. / 東日本リアリズム演劇会議に加盟承認の祝電を受く。
10. 25. / 第二回公演、木下順二作「山脈(やまなみ)」を、弘前市民会館で上演。
12. 5. / 津軽うたごえ祭典で、「荒木栄、あなたは、うたごえとともに生きる」のシユブレヒコールを上演。
12. 15. / 育森県うたごえ祭典に「その時は唯一つ」を上演。
14. 1. 14. / 盲啞学校のために(テープ・ライブ・ラリー)筒井敏介原作「バンナナと殿」を上演。
- △弘前演劇研究会▽ 23名
演技班20名。文芸演出班3名。

様」を録音する。

5. 17. / 第二回総会。(リクリエーションを弘前市民会館にて上演。

5. 12. / 津軽うたごえ祭典に「その時は唯一つ」を上演。

10. 25. / 第一回公演、関口潤作「太陽の民」を弘前市民会館にて上演。

5. 17. / 青森職業演協主催の労働芸術祭に特別参加、「太陽の民」を上演。

5. 16. / 第三回総。(リクリエーションをかねて百沢温泉へ)あらたに経営部をつくり、幹事会で、会の運営をすすめる

一、津軽地方に於ける地方演劇の現況

(労演運動に由れり)

津軽地方と限つたのは、青森県全体はまだ正確につかめない状態からです。

青森、黒石を中心て、津軽地方は非常に活躍した地方演劇運動の歴史をもつてゐるところです。戦前の非合法運動とつながり、敗戦後は大衆運動を支持し、また農村への炎のような大衆運動を支持し、また農村への文化工作隊、人形劇団をふくむ、数々の劇団の公演記録があるのです。

しかし、残念ながら30年代（李間的）飛躍しそます）になると、殆どが活動を停止

し、またその劇団の性格が変貌し、という

のは一派が公演主義になつてゐる。当然レバートリーも、階級的利害とは無縁なるのに変わっていき、たとへたことです。青森市の国鉄労働者を中心とした、ある劇団は三四人の組員に減つてしまつて、5年という年にかけて、自主公演の経営的つらさ、組織員保持の大困難さだけがその原因であるとは考えられないのであります。

5年の現況となりましたと、李森に一つ、弘前で入れて三つ、黒石に一つ、五所川原に二つと、いわゆる自立劇團としては七つほどあるのですが、今年の公演内容をうますと、弘前では二つが教育委員会、「芸協」主催。五所川原で他の四つが、交流公演を、「文化振興会議（地元と新聞が主体となつてゐるが、長井を除いて部省につながつてゐる）」の後援でやつてゐます。弘前では来年の成人

式に出演するそうです。「地方演劇」とはこということでしょうか。全国的に文部省は教

委を通じて、地方演劇、青年演劇を指導し

？はじめにあります。

労演は青森に強い組織力のある「青森労演」

があります。そとは、八戸が非常に困難と斗

いながら、五所川原は労音の活動とひゞくる

んで、弘前は準備会として十一月に発足、と

いう状況です。各地とも、全國同様、芸協、

田舎協復活、民音とかの攻撃を受けてながらも

頑張っています。

二、弘前演劇研究会の発足

上5年3月20日、我々は、「働きながら勤く

人々のための、地方演劇運動をひろめて！」

ことを目的として、殆ど演劇経験のない、労働者、市民が集まり、ハ弘演研Vを発足させ

ました。我々の演劇運動が、何のために、誰

のために進められるのか、それは実に大きな

差はあっても、各々任務を分担しており

ます。子供は全部で六人半あります。一人

少から特徴点にほります。

第一回公演、関口潤作「太陽の民」から、

本年10月の第二回公演、木下順二作「山脈」

まで、沢山の報告したい事があるのですが、

その間、若い労働者が、組合運動家に、積

極的な、労働、平和運動の一員に育つていき

ました。

ハ弘演研Vには、現在五組の夫婦があり、多

少の差はあっても、各々任務を分担しており

ます。子供は全部で六人半あります。一人

少から特徴点にほります。

ハ弘演研Vには青森銀行の労働者が多いので

二人の時もありましたが、今日まで守られて

おります。やがて、避地小学校へ児童劇を、

◇ 京浜協同劇団

(1) 下半期・秋の十二回公演に予定された
△真土村一揆△が、△河△横浜・東京の再演
で日程的に圧迫され、加えて演出予定者
郡山勝利の病気、入院という事態が重なった
ため、この上演を四一年六月に延期せざるを
えなくなつたことから下半期の活動にいろいろ
問題が出てきた。

(2) △真土村△にかわる黒沢の△傷だらけ
の天使△によって、集約体的なバックアップ
をしながら予定変更の困難をのり切る方策が
考えられ、医療の斗争 日韓・ペトナム
戰吾二十年という課題がとりあげられた。し
かし、具体的に何を、どう書くかと云う最初
の討論の段階から、明るくスカラとした斗
う労働者像を描きたい、と云う主張と、そ
いうことは全く無関係に生きつづけてきた
一人の善良な人間が、そのことの故に軍事化
をいそぐ支配機構におじつぶされていく過程
をとおして、敵の正体をばくろし、それにつ
ちかつにはどうしたらよいかを味方の弱点を
もひつくるめて大胆に打ちだそうといふ作者
を中心とした主張とが対立した。この意見の
不一致は稽古途上で何回かの話合をもつて解
決しようとしたが、最後まで統一できなかっ
た。

このことが作品に対する信頼、仕事に対する
情熱を失わしめる結果になり、稽古の遅滞

不勉強、なげやりな態度が劇団活動のあらゆ
る部分にあらわれた。改稿につぐ改稿とい
う困難な状況は、演技者が、スタッフが自分の
力を限界までだしきることなしにのりこえら
れるものではない。しかしこゝでは逆のこと
があらわれた。演技者が、作中人物の高みに
がる努力をするのではなく、自分に役をひ
きあらし、やり易さを作者や演出者に求める
創造とはおよそ無縁な態度までが生みだされ
た。

そしてこのことは、経営面に決定的マイナ
スとしてでてくる。作品に対する信頼、自分
の仕事に対する確信がなくて普及はできない。
一五〇〇と云う数字は創造上での混乱を如実
に物語っている。また、戦線を縮少して拠点
のみを固めようとした経営方針も、やり易
さ、という面でのみとらえられたとともに創造
上の弱点と関連している。

これらの状況の中で、舞台を救つたものは
作者、演出、そして主要な役を受けもつた王
役と若い演技者たちの執拗な努力であった。
劇団の新しい作者、城谷護・橋彌生がさまざま
な弱点はもつてゐるにせよ創作劇を書きあ
げ、可能性を見せてきてることは私たちに
とっても大きい。

(4) 四十年下半期で組織的にも創造の面で

も大きかったことは、黒沢とともに劇団の柱
である郡山の病気休団であり、それが劇団に
大きなマイナスとして作用した。劇団の弱さ
として考へる必要がある。

(5) 劇団の四一年の仕事について若干報告
したい。劇団総会が、二月に予定されそこで
最終的な決定がなされるが、こゝでは運営委
員会で話しあわれた大まかな見とおしを書く。

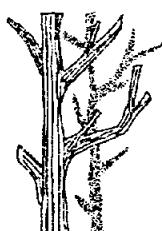
(1) 本公演団。まず一月二四日、二五日、
△傷だらけの天使△東京再演。九段会館ホー
ル、このため、改稿を十二月一ぱい。新春か

ら稽古、経営の同時進行で作業ははじめられている。また、二月からは△真士村一揆▽（6月16～19日・川崎、26日・平塚、7月9日・横浜、7月中旬・東京で公演予定）にとりくむ。これはすでに40年3月段階で第一稿が出されており、41年1月～2月にかけて決定稿が出される予定。

秋の公演については、現在作者から、△真士村▽を二部作として第二部を秋にもつていただきと云う意向がたされといふが反対意見もあるので実現するか否かは不明だが、いずれにせよ、八月の東り演総会には明るい顔でその結果を報告したいものである。なお、すでに東京公演については、労演10周年記念行事の一環として、東効演とのタイアップで上演される見とおしがでてきていたる。

(b) 小公演団の仕事については、△川つぶち▽で三ヶ所ぐらいの移動（3月段階まで）を考えており、それにそなえて台本の改訂をいそいでいる。小公演団の仕事は、上半期前半で打切り、あとは△真士村▽へ集中する。(c) えんげき行動隊については、現在固定のレバは△三家福▽一本。これを新年の旗びらき用のレバとしてまわしていくが、更に一本の創作劇を舞台化する予定である。このほか構成詩、新しい試みとして万才などもとり入れたい。この、えんげき行動隊は當時要請によって出演するので本公司の稽古体制の合間をぬって条件のある劇団員で構成し、メンバーも固定化しないであつていく予定。

(d) 期生（第十二期生）を一月中に発足させる予定であり、現在募集をいそいでいる。
④ 以上仕事を中心に書いてきたが、劇団の日常活動の面でも手を加え変えていかなければならぬ部分が沢山ある。昨年前半から機関紙、座内紙、学習活動、交流活動などの面でいちぢるしく機能が低下し、そのため起っているマイナスばかりではない。これをたてなおす必要がどうしてもあり、そのため、各パートの目標を明確にし人的配置をも考案をおさなければならない。
また、劇団の長期計画を二月総会でたてる予定だがこれについては別に報告したい。



劇団からつかせ

六年の展望

まがりなりにも劇団「からつかせ」は再建発足以来二年間、販場や家庭でのきびしい状況の中から、創造面でも普及面でも思想面でも苦しい斗いを経て、「神戸月」、「かんから庄場に集まれ」の公演を終え、十三回公演には、日本の軍国主義化ときびしい不況と合理化の嵐が吹きます。さぶ現状の中から、小島真木作「陸橋」を決定し、五月本公演をめざしてとりくみ、一方、浜松では定期的な期庄教育も才一期生を送りだし、そのみずみずしさと工ネルギーに団員一人々々が目をみはりながら、一期生の成果と仄暗に学び、二期生の教育に向かっています。演劇行動隊も徐々にではあるが始まり、「遠州のトラヤン」「ぶんだまげた」「構成詩」等を武器に、日韓系約反対集会や、サークル集会に参加してきましたが、本年はフルに活動できる演劇行動隊をつくりだしていくつもりです。

それで浜松の文化戦線の結成をめぐれて、それその文化団体の持っている独自性と、共通性を生かしながらその核になるべく遠州地方労働者芸術授試会の強化、發展をはかるとともに、演劇活動者会議を持って今年の斗いをきり抜いていくつもりであります。

(1) 公演活動

第二回公演「陸橋」の決定は、地元のオートバイ工場や、乗合工場での労働者や、下請会社に不況と合理化の嵐は集中され、その斗いの現実はきびしく、まさに必要としている作品であります。劇団にとって、「陸橋」公演の課題は、①「陸橋」のもつてている差別という実態をどう受けとめ、自分のものにしていくか。②「陸橋」を普及する中から学んだ現実をどう創造的に生かしていくか。③地方にどう根をおろして

いくか。であり、基礎技術を身につけるばかりで、次方に進む軍国主義化と不況と合理化の嵐の現状を、思想的にがっちりと受けとめられるようになれば、今まで未熟であつた創造面で、教段と向上することでしょう。

しかも団員一人々々の斗いの発展が団の斗いを前進させ、巾広い斗いをつくりだしていくのであります。今迄仄暗であった公演の総括を本公演、地方公演を通して綿密に行い、次回公演に生かさなければなりません。

(2) 期生教育
劇団が才一期生を送りだしたことは、浜松の演劇運動にとつて定期的なことであります。

期生の演劇にたち向かう新鮮な工ネルギーは、まさに「泉」であり、団員が忘れかけている団結と、新鮮な創造性とを劇団に吹込んでくれたのであります。才二期生を育てるにあたっては、期生と稽古場の確保と教育課程の確立がますます求められましょう。また私たちのような未熟な劇団にとつて、担当者自らの学習がます必要なのであります。一応、期生教育の土台は二期生まで作らねばなりません。

(3) 演劇行動隊の定着化

大坂の演劇集団「鬼吹」の、かたおか・レラウ氏の「天満のトラヤン」を、「遠州のトラヤン」に書き換え、それを中心にして昨年発足した演劇行動隊は、創作詩や音楽もその活動の中に入れてきましたが、今年は行動性と創造面の向上をめざして、団員一人々々の思想変革を伴わすなかで、稽古を日常化させ、普及部と一体となっておこなわなければなりません。

(4) 演劇文化戦線の建設

① 遠州地方労働者芸術授試会の建設
地元のセンターコンサート、日本民謡・美文学同盟、詩人会議、労働者美術文会と劇団の基本的に同じ立場にたち

文化運動の中核部隊の団體で、美術・文藝研究会、音楽研究会、演劇研究会等が、芸術創造と団結をからむる。二年一度当該二部会の会員もら、具体的には月一回の座談会と講習会をもつて開講を発行して相互批判を行い、共通の立場、誤解の方法をまぐれり、一つ一つの矛盾をといて浜松文化運動へとりでにしていかねばなりません。

②演劇活動者会議の建設
現在、浜松の演劇戦線が固つてゐる状況は特殊なもの
を含んであり、各団体との共同戦線は今、何と二三考える
ことができるが、困つていい状況を切り開き、戦線
を拡大するためには現在のところ、活動者をより広汎に
結集しなければなりません。当面演劇セミナ

特に組織との関連から見てみると、この問題は、組織の運営をより効率的に行なうための一歩々々その結果の条件を満足しなければならぬ問題である。

なりません。
③ 浜松演劇鑑賞研究会（労演）の強化と発展のために
浜松演劇は、民族的・民族的演劇のスローガンのも
とに現在、演劇運動の中心的な発展の場になっています
が、上演される演劇が劇団中心であり、労働者や青年た
の希望を捉え、動き動かす点で非常に不充分な点をもつ
ています。
劇団では各団員が持っているサークルを一つにして、
「からっかせスロック」を作り、また自分たちの観客を
積極的に結びつけ、しかも運営委員会に一名出し、一定の
方針を持ちこんで、演劇の掲げている民族的・民族的
演劇のスローガンを具体化していかねばなりません。

東リ演への期待　　東リ演は一応存在を知ったもののつい劇団から眺めてしまい、私たちの運動を東リ演の立場からみつめ批判し、実践することが一部の団員だけに限られ、団全体のものにはしておりま

今年の課題は、団員一人一人が、東リ演と自分の活動として意匠でござるまで具体的な実践をしておいて、東リ演と内に本がりを深めなくてはなりません。それには、①東リ演加盟劇団に学ぶこと、まず自分たち劇団の経験から。②先進的劇団からの創造面(特に演出)での援助を――創造面では暗中模索状態だから創作劇誕生への期待――生活史・生産史での斗争の強化と、時間的にも創造的にも書き手への団の保障へ自分たちの劇団では――この二点への期待がかなえられたら、それは東リ演の發展でもありますし、また私たち劇団の發展にもつながります。文・船水一)

名古屋演劇集団

-18-

で、財政上には若干の赤字を出しましたが、本年度第一回の公演にふさわしい大きい成果をあげました。この間研究前才二期生へ名舞芸から清算オ七期へを送りだしていきます。

引続、「島」の上演準備にかかりました。この準備は從来の欠陥を補うため二月頃から始められていきましたが、三月末になりました。「島」の上演に直接参加する人員は比較的小数で、劇団の半ば四月末から六月にかけ、移動公演は殆ど「トラヤン」が受け、更に、五月から開始した研究生教育は「島」組と別に進められて、公演日六月二十日まで我々として比較的長期の割合に充実した稽古を重ねることが出来ました。玄島への現地見学にも助けられ、割合にまとまつた舞台をつくることができました。本年度の一つの成果に教えられます。

強いかれ、「島」を取上げたことについては、一部から強い批判も出ています。平和運動について、又現時東で製造上、一部の配役の失敗、衣裳等についての配慮のなさ等指摘をうけています。が、兎も角、劇に長い期間創造に打ち込んだことは、大変よい経験と見て大切なことでした。この間に、青年集会・メーテー文化祭・日朝祭会全国大会等々、「トラヤン」が大活躍で側面からこの本公演を援助されました。

六月公演直後、私の訪中、続いて七月中旬の郡上一揆の名演例会への投入出演、とスケジューが混みだしました。九月公演は九月二十九・三十日と既に会場は決まり、七月上旬に「俺は癌」を候補にあげたが、原作者が色者・劇団へ東京へと夫々に上演許可をとる交渉になります。

入ったが、スムースに進まない。加え、名古屋劇団段試会の合同公演案が具体化し、遂に、七月の郡上一揆を終了し、八月も近い頃になる迄本格的な稽古に入れませんで、一方で合同公演「どん店」の稽古が始められ、劇団から演出者以下十数名がそろって取られ、たと共に、研究所や三期生の教育がいよいよ一ヶ月の終了した。八、九月は、一方で合同公演「どん店」の稽古が帰国後の報告会に追いまわされている、といつた状態で、「俺は癌」の稽古は思わずく進みませんでした。その結果は出来上りの質が不充分で、動員の活動も不足。よい成果を得られず、本公演を終りました。しかし、この題材は歓迎され、その後二回の移動公演を行なうことが出来、末更に再上演の予定もできました。その中で少レアフ、慎重ねてよくなって行ないます。

一〇月下旬、合同公演を終り、子供劇場のための上演準備にかかりました。予定は一〇月初めを二〇日以上もおくれ、一〇月末から「キュー・ボラのいる街」に入ります。

「キュー・ボラのいる街」は脚本が比較的、易しいこと、小人数であること等で短かい期間でしたが、どうにか型がつきました。左も、稽古日数約三十日で、名不ルキアスト教名のため実質的にはもつと短かかったし、公演約十日前に長五郎役の玄木健介が病にたおれ、急遽代役を立てての仕上げで充分出来上りたとは云えなかつたであります。

この動員面でも失敗をしました。日常的に教員との交流の不足していることは、才一にあげられるでしょうが、今度は、更に九、一〇月の活動ができなかつたこと、学生立てる仕上げで充分出来上りたとは云えなかつたであります。

核の行事予定が変わったこと等々で、七回公演予定の中四回が流れ、三回、五核に終り、財政的に苦境に立つことになりました。

以上が公演活動の概要です。

創造普及の問題その他にセミナーはいくつかの結果、次第

を打出します。

もありました。二月末、劇団はぐるまとの共同で、中部ブロックゼミを行いました。既に報告した通り、第一回の交流会としては充分その役目を果たし、以後交流とお互いの連携感を深めています。

内部組織について、本年当初各部の組織化と創造・監修委員会・監修委員会をつくり強化する方針を立てました。二部門への二重加入をされ、更に運営委員会の下に創造委員会・監修委員会をつくり強化する方針を立てました。劇団の現状と合わせて演出部員がキャストにつき、演技部員がスタッフに入る等、まだ一人一人の任務が明確に分担されない等の型通りには整理できず、創造委員会も入送り行きました。一年を経てしまいました。末年度の課題として、更に考える必要があります。

研究生教育は本年度、従来の欠陥を改善するべく、年二回の募集を一回とし、期間を三ヶ月から六ヶ月に、又担当者を専任させる等で、よい成果をあげました。末年度は更に大胆に改善して行く目標ができました。郡上一揆への投入は短期間のせわしい仕事であつたけれど、岐阜との交流に役立ち、名演の地元劇団公演への足がかりをつけさせたこと等大きい成果でした。名古屋劇団協議会の合同公演「どん底」は、一応の成果をあげて終りましたが、加盟八劇団の中四劇団のみの取組みであります。これも充分な成果だったとはいえない。年末、劇団は新らしい研究生からの参加者を加えて、団員教員の余名にのぼりました。

一、豊かな創造を生み出すために
①思想性のある創造をめざす。
われわれの舞台づくりには自分の手持の素材や経験、
負担だけではなく何かこなしてしまふとする、安易な圓
滑主義がまだ残っています。従つて作品の論
理や、作者のモチーフを大切にせず、自分のつもりを優

土の会では年末の二回同・全体会議(総会)を開いて一九六五年度の活動を総括するとともに、その成果と欠點とに学んで、新しい年の方針を検討しました。東京という地域に根ざした演劇集団をめざしての歩をふみ出された昨年の活動は、土の会を「運動」という面からだけ評価するのではなく、「創造」の美で一定の役割を果たしたと思うに至ったと思います。

年度初頭の信濃へ「東リ演芸会資料」参照)を克服しようと奮闘した努力が、「エントツハアソシンス」、「神無月」から「椅子物語」までの活動の中で、いづれかの実りを生んだといえるでしょう。しかし、それを結果として見るではなく、これから展望に立つて考えると、自分たちの仕事のしつ社会的責任として、創造の質を高めるなどの重要なことを意識せざるを得ません。その意味で土の会は、変質を迫られてきているといえます。成果と同時に、つまりわれわれの弱点とのりこえないあたり、前進はない立場にあります。そこで今後われわれは、これまでの現状、一九六六年の土の会の活動は、極めて大切になります。そこで今年われわれは、次の課題にとりくみになります。

先立させてしまったのです。その弱虫は、作品の思想を肉体化するがわるわれの仕事であり、そのためには甘えを許さないことによつて前進させられるのでしょうか。作品を読みとる力を養うこと、稽古場を自分と作品とのた

左木の場にすることが重要です。

②再上演の活動を通じて創造力を高める

今年度、特に前半期、「椅子物語」を中心、「エントツ」のあるオーフンス「神無月」そして、「はやて」、「はやて」の改稿上演と、今までとりあげた作品の再上演活動を強化します。これらへ上演によせられた観客の意見を参考を生かし、作品と舞台のテーマをより深め、創造力を高める力を自分たちのものとして、新しい観客を拡大する仕事を意図的に追求することです。

③黒沢・矢野・高橋氏の創作劇を生みだし上演する

活動から「土の会の芝居」を確立する
矢野高橋氏は「椅子物語」の改稿上演を通じて、土の会の舞台づくりに新しい観点をひきりつけており、黒沢・高橋氏は草に京浜役同劇団の作者というだけでなく、東京演劇の語るべき作者のひとりです。土の会は、本年度この二氏に新しい創作劇の執筆を依頼し、秋から来年度にまたがる上演計画を具体化することにしました。

東京を中心とした京浜の働く者の演技を前進させ、観客の要求を鋭くくみ取ることを可能にしたい。山村金平の「はやて」はやて」の全面改稿上演を含め、それらの活動が土の会の創作劇を生み出す力を、確かなも

れた人々の生活するこの両地域を、土の会の上演活動の拠点に設定し、春秋二回の上演を行います。この活動は決して東な活動ではありませんが、観客の大・会との結びつきをはかる参加上演・小上演を意図的に計画する二対応させて、東京における労働者の演劇普及の根をつくつていくことが必要になります。

②東初演・東京公演との組織的連帯を強める

今までの成果を確認し、この二つの組織を通じて、東京で演劇をつくり出そうとする仲間と結びつくことは、ますます重要なになってきました。土の会にとっても、この三年間、社会的視野をもちながら東初演に参加してきたことが、創造を前述させてきた大きな力となっていることは確かです。

その意味をつかみ、今年度さらにその方向を意図的にすすめ、春の東初演演劇行脚、演劇の十周年記念行事、秋の東初演発表会に向けて活動を行います。

③土の会友の会を正式発足させる

一昨年、準備会という形で生まれた友の会を、この一年間会として放置したことは、土の会の観客組織を確かにする二点からいって、大きな手ぬかりがあったといわれねばなりません。今年は正式設立をはかり、その基礎の上に友の会を増大させ、観客の支持に依頼して活動がすめられるよう努力を続けます。

三、深い信頼に基づいた創造集団の組織を確立するため

①創造を中心とした相互批判を強化する

われわれの活動には自己中心的な考え方があり、それを互いに許し合うような、妥協的な人間関係があります。創造集団としての会員同志の信頼は、会の運営が条件の調整ではなく、互いのすぐれた点を認め合い、次第に加深する

二、東京における上演活動の確かな見通しつくり出す

ため
①板橋地域・江戸東京地域における上演活動を定着させ
る

昨年までの上演実績をもつ、われわれの舞台を覗いてく

弱虫をまだつています。それはわがわが體がアーチストの體を保障することに自分の立場をおこし体制としてもそれを保障することです。会員の適正な任務配分、そのためには重要になります。

②年間計画に従い専門部の活動を明らかにする
従来の体制を伸ばし、演出部・製作部・運営部の三つの部が年間を通して活動できるよう年にレ、年三回の全体会議(総会)と、毎月の例会を問題集約の場とすることです。

③指導部を確立する
集団全体の活動を保障するためには、強力な指導部が必要に存在することが不可欠です。各専門部の部長と書記で構成する企画委員会を、名実ともに土の会の活動の展望をヨリヨリくものとするのが課題です。

以上のような問題を解き、前進を歩らざることが一九六六年の土の会の方針になります。しかし、東京における幼く者の演劇創造を発展させるためには、土の会だけの活動では足りない二点もあらがいあります。東京の地で活動する多くの劇団やサークルと結びつくことが必要ですが、とりわけ東京演劇團との連帯によって進めることが重要です。また、東京の観客をどう組織するか、創造への貢献を向上させたための活動など、関東スローグの果たさねばならない仕事と、かけ声でなく目に見えるものにするのも、今年の任務になります。

(付) 一九六六年上演予定
一月二十四日 吉祥寺「灯」 エントツのあるオアシス
三月 江東・墨田上演 神無月
江東・墨田上演 椅子物語

四月	一七日	埼玉演劇公会	椅子子脚本
五月	一四日	板橋上演	矢野喬作「(劇未定)」
一〇月	一四回東京演	江東上演	のいすか一本
一一月	板橋上演	その他の	はやて脚本(脚本)
五月	演劇十周年	参加上演・小上演を行なう	はやて脚本(脚本)

紹介集会係より

劇団からつかせ、名古屋演劇團、土の会からの原稿は到着があくれたため、やむなく鷹写印刷で挿入しました。劇団と読者のご諒承を乞う次第です。総会の前に、新年度の計画をもとめたところに無理があり、いくつかの集団の報告は欠ける結果になりました。昨年八月の「オ五回ゼミ・オ二回集会」が発刊されていました。本誌とあわせて、ぜひ全体のご購読をおねがいします。(五の頁・百円)この戯曲誌に対する全体的な支援、具体的にはアンケートで本誌の前途のため一役力くだつるよう、これからおねがいしておきます。

「書けない黒板」観劇記

演集

若尾正也

岐阜の劇団はぐるま十一月公演「書けない黒

力と真実感をもつていた。

板」を私は初日に拝見した。作者こばやし・ひろしが訪中、郡上一揆再演、報告会とまことに忙しいさ中での力作、昨年から温めてあつた題材であつたがさすがに、いつもより少し遅くなつた仕上りで稽古不足が心配されいていたが、待機していた劇団総員のエネルギーの活動で、期待にそむかない立派な舞台を見させてくれた。

ドラマにしくい教育問題に真正面から取組んで、難しい問題に充分観客を引きつけ、

又、作者が材料を持ちすぎてゐる為か、少し欲張りがあつた様にも思える。

説得出来たのは、作者の教員としての体験で日常身についている素材であることは勿論だが同事に、演出演技の生真面目なとり組み方に助けられた所が大きい。

正直、幕開直後は、装置にも邪魔をされ、

「男」の演技にもさまたげられ、中々舞台に入つていけなかつたが、先生達が自宅で、グループ学習の準備をするあたりから次第に、

内容の問題に引きつけられていく。大抵に國表をつかつての説明等、観客に教育の一端をはつきりつかませることが出来、おされた演技で、淡々と進める演出の中で「私は何とけ観客をとらえた。演技は、二、三を除く外むしろ平坦すぎる位な会話の中で、充分説得

作者こばやし・ひろしが訪中、郡上一揆再演、報告会とまことに忙しいさ中での力作、昨年から温めてあつた題材であつたがさすがに、いつもより少し遅くなつた仕上りで稽古不足が心配されいていたが、待機していた劇団総員のエネルギーの活動で、期待にそむかない立派な舞台を見させてくれた。

「書けない黒板」は必要ではないだろうか。もつとも「男」の演技が悪かつたことも原因があるかも知れないが、「貫して舞台から訴えかけるものが「真実性」」劇

にエピローグに出でると、冷水をかぶせられた様に白々した気分にさせられて了つた。

「男」の役が、舞臺にお芝居にして了う。特

にエピローグに出て来ると、冷水をかぶせられた様に白々した気分にさせられて了つた。

富な舞台写真や、劇団の歩みに紹介された岐阜はぐるまのよろこびの重みであり、東リ演

の仲間としてのぼくらの誇りの重みでもあります。

「書けない黒板」は必要ではない。その上に長い手紙を読むことは範

本にまだ分らないかと駄目押をしてから程に感じられた。

しかし乍ら、全体を通して、観客は、教育具の転換は音を少なくし時間を短かくする上によかつたが、そのため、教員室の机や椅子が視覚的に大きくなり白々しなつたり、舞台の一部に暗闇（真暗でなく）く捨ておかれたスペースが出来たりで、肝心の劇の進行に邪魔な要素のあつたことはおしまれる。

「書けない黒板」は必要ではない。その上に長い手紙を読むことは範

こばやし・ひろし作品集 郡上の人百姓

こばやしさんの立派な戯曲集が生まれました。中國に紹介され、民芸でとりあげられた「郡上の人百姓」をはじめ、未発表の一幕も

この三本を収録したこの本の重みは、巻頭の豊

富な舞台写真や、劇団の歩みに紹介された岐

阜はぐるまのよろこびの重みであり、東リ演

の仲間としてのぼくらの誇りの重みでもあり

ます。

劇団とあなたの書架にぜひ！ とおすすめします。申込みは

岐阜市西野町1／劇団はぐるま宛。（A5判、二二〇頁／定価、四五〇円／発行、静文堂書店）

運 営 委 員 会 小 報 告

二月二〇日(日) 午後五時閉会

会場／静岡演劇音楽センター(静芸稽古場)

東リ演運営委員会は一月九日、斗争中の川

崎大和電気労組で午後一時一八時まで開催。

出席：名古屋演集(若尾) 静芸(山崎、井岡)

仙台小(阿部) はぐるま(打田、中野) 土の

会(よしだ) 京浜(黒沢、戸倉、恩田)

仙台小はこの日総会の中から、二〇頁に及ぶ議案書を擲えて代表が参会。六五年の総括にたつてくまれた三ヶ年計画は、五〇人の劇団に、中堅の育成、規律、実務体制、活動の展望等に綿密な方針をうちだしている。

プロツク／劇団報告：二時間にわたる報告

の中で、どの劇団もが地域のたたかいと一層密着するため、創造一普及の上で精力的な、きめのこまかい活動をすすめていることが理解される。

「書けない黒板」で「郡上一揆」の観客動員を岐阜市内だけで確保したはぐるまは、教育問題でかみあつた父兄(お母さん)と「ひとりつ子」の改作再演、「黒板」巡演で更に緊密に結びつこうとしており、その中から岐阜労演の結成、稽古場の改築などの目標に向け前進している。はぐるまは経験を通して、創造と経営の結合による企画委員会の役割の重要性を強調した。

静芸は「ひとりつ子」上演後、これらの上演活動に重苦しくのこる「つぶてとかかり火」の代替という把握にメスをあて、十年余のアンサンブルを強め、「つぶて」の上演できる劇団を相言葉に、皆明るくなっている。

品を選定、作者の問題提起をそえ各劇団の討議に付し、それを基礎に討論を深める。従来

議案書を擲えて代表が参会。六五年の総括に比し作家会議の色彩がつよくなる。

(1) こはやしひろし作「書けない黒板」テアトロ三月号掲載

(2) 黒沢三吉作「傷だらけの天使」東リ演創刊号掲載

(3) 早川寿作「芽をき」プリントで配布。

座長は山崎欣太。なお、創作部会について事務局より直接案内の予定。

屋敷團協議会、西児演、静芸の県内劇團サーカル、仙台の山形への恒常的な働きかけは貴重である。同時に遠隔の弘前、新潟、群馬の演出者の派遣も実現したいと話合われた。

なかまとの交流、甲府、北陸、長野との接触

をプロツクごとの観劇交流の他に、ゼミや運

當等の開催地として親しく往来し、書き手、

演出者の派遣も実現したいと話合われた。

東リ演係の会議と右創作部会とあわせて、能なでの、多勢の参加が期待される。

機関紙誌について(東リ演刊行物を機関誌

(隔月、A5判五〇頁、等共一一〇円)とニ

ュース(毎月、静芸で担当する。機関誌の編集は京浜

両団体について山崎事務局長より説明うけて

全員一致で加盟を承認。従つて東リ演加盟劇

部(各劇團平均二〇部)の配布、回収につい

ては積極的な応援が必要。とくに誌面を皆のものにするための批判を、もとめられた原稿

と共にどしどし送りこむこと。創刊号の内容

干もうける予定。

会費(劇團員数に金額を乗じた徵集方法とそ

の金額で話し合いで結論せず、事務局に年間予算を要請し、この件見おくる。以上

東リ演創作部会：本年第三回の創作部会を

つきの要領で開催決定。

日時／二月十九日(土) 午後七時開会

東 南 北 西

東

A 一九六六年新春をむかえて、全国の演劇の仲間、東西リ演の仲間に、まずところからおめでとう！を申し上げよう。

A 自分の拠点にガツチリ定着して、観客と呼吸のあつたしことを一つ完成功させていく、そのことの大切さを教えられるね。

本気で考へてゐるなら、ちよつと挨拶のしようもないんだが、観客の高まつてゐる要因にこたえるには、ますます現実を深くえぐるドラマツルギー、豊かな世界を凝結する演出技術、血のかよつた人間表現へ肉迫する演技術が必要だということは、謙虚にみとめるべきだね。

Z 機関誌がそういう要求にこたえうるかといふ疑問もだされているが、どうだらう？

A それは東り演そのものが、創造を高めあうという命題に本当にこたえうるか、とも関連するが、現実にわれわれが仲間の創造にどんなに刺戟され、援助されてきたかを考えれば、本誌が一定の役割を果たすだろうことは疑う余地がないだろう。

Z 去年の合同ゼミ、総会でもいわれたが、お互いの創造にくいこむ交流がどれだけやれるか、ということとか。ソツのない賞めあいは、卒業したいものだ。

A 本誌はどう読んでもらえるだらうね。

Z 劇団ごとにたとえ置かでも合評会をやつて、まとめを送つてくれたら嬉しい。発展のメドはやはりそこにあるのだから。

A しかし東り演の連帯が、主として世界観の一一致、組織一運動のこととしてあらわされてゐるのは、事実としてある。その辺かれ、大橋喜一君の「東り演的」などといふ表現もでてきているのだろう。

Z 赤旗とインターで幕をおろせば、観客がワツとくるなんてところに乗つてゐる、と

南

Z それから、全国からよせられた友情にみちた賀状にお礼を申しあげなければね。

A 昨年八月第三回総会のとき、新潟むぎの会が十月に弘前演劇研究会が、そして十一月名古屋でくのぼうの会が加盟して、東り演も十五団体、グンと大きくなつた。

Z 創立のとき七劇団だつたから、二倍を超えた訳か。数の増加だけが発展のパロスターではない、ということはわかつた上で、しかし心強いことだね。

A 文部省が各地の教育委員会に通達をだし、て組織するのは違う。まさにその逆、一定の覚悟が集団のものにならなければ、加盟にふみきれないのだから。

Z 新参加の集団の熱氣は、本誌の報告にもうかがえてたのもしい感じだ。

A 地域社会における文化的いとなみーといつた素人演劇の論理ではない、状況を変えれる主体としての勤労階級に、のこされたといふ云い方は変だが、ミニケーションの有効な手段として舞台創造・普及の活動がとらえられていること、これが東り演運動の基礎だろう。

Z その点、岐阜のはぐるまが、前回「郡上一揆」で郡部を含めての観客動員四千に、

東 南 北 西

東

Z その通りだ。岐阜ばかりに目を向けて、アレヨアレヨと云つていたのでは、日本の演劇が東京にしかないような演劇状況のつかみ方の二の舞になる。いま、事務局では東り演のもつてゐる観客教育の廣の調査をはじめているが、こういうやり方で自分の地域と観客を、正確に科学的に把握する必要がある。たゞ、その廣の調査をはじめているが、こういうやり方で自分

Z ようでは、情ない話だからね。

A 自分の地域人口の一%を観客にもてない

Z が重複だ。この組織がつくられた当初の目標も、はつきりそれをうたつてゐるし、リ

A そのためには、創造の質をどう高めるか

Z いということだらうね。

A アリズム演劇の中味も単に政治思想の統一

Z A 本誌はどう讀んでもらえるだらうね。

Z 劇団ごとにたとえ置かでも合評会をやつて、まとめを送つてくれたら嬉しい。発展のメドはやはりそこにあるのだから。

A しかし東り演の連帯が、主として世界観の一一致、組織一運動のこととしてあらわされてゐるのは、事実としてある。その辺かれ、大橋喜一君の「東り演的」などといふ表現もでてきているのだろう。

Z 赤旗とインターで幕をおろせば、観客がワツとくるなんてところに乗つてゐる、と

傷だらけの天使

(三幕八景)

第一景

音楽。

黒沢参吉作
京浜協同劇団12回公演台本

舞台くらしま、宣伝カーからの放送。

「佐藤総理は嘘をついている。日韓基本条約は決して

彼の云うような善隣友好の条約ではありません。これ

は、朝鮮民族の最大の悲願である南北朝鮮の統一をふ

みにじつて、現在の三十八度線を固定化し、武装した

アメリカ帝国主義のテコ入れでようやく支えられてい

る朴政権とだけ手を握る。そして台湾を含めた反共軍

事同盟をつくりあげる。ここに眞の狙いがあるのです。

十四年間にわたってつづけられた日韓会談は、日

朝両人民の反対斗争によってそのつど挫折してきた

ですが、ことし六月調印、八月には戒厳令同様の弾圧

の中で韓国国会が、これを強行批准したことは、二つ

の国の主人であるアメリカの、日韓条約に対する大き

い期待をものがたっております。……なぜか、それは

ベトナムにおけるアメリカの侵略がいまや失敗に失敗

をかさね、危篤状態におちいつていることと強く関係

している訳です……

L K J I H G F E D C B A
人 榎 浦 キ ク
市 橋 月 江
油 谷 康 久
白の合唱隊（女性）
黒の合唱隊（女性）
(男性)

A : : :え、きこえないよ、宣伝カー？ あゝ、外で宣伝カー
がガンガン、きこえるだろう。そう日韓。 : : :え、日赤労連
の宣伝カーを？ 何にするの、そんなものこっちへ廻して：

ペトナム。ああ、ああ、だから、それはまだ向うで認めていないのよ。うん、いま組合の代表が質問している最中。

I それじや質問への答えになつてないぢやないですか。

舞台あかるくなる。

舞台は、シモ手から平舞台のセクション1、中央に異った高さで区分されるセクション2および、カミ手に人の肩ほどの高さのセクション4で構成される。各

セクションはいくつかの階段で連関し、主要な三つの壁面はスクリーンの役目をはたす。セクション3の奥手は紗幕で必要に応じホリゾント前の人物が透視できる。

いまセクション2では、Aが電話にかかっており、4では日とJがIとKおよび市橋月江と対峙している。

K くりかえしますが、組合の質問内容は次の二点です。日赤医療団が南ベトナムへ派遣されるという情報があるが、その真偽。そのメンバーに、当病院の職員看護婦が入っているといふ噂があるが、その真偽。

H だから……ヤフから棒に、そんな質問されたつて、院長は出張中だし、外科の一部長にすぎんぼくなどに、返事のしょもないと、きみ。

市橋 本社からこうして人事部長までみえているの、大変タイムリーですし、納得のいく回答してほしいんです。

J どうしたこと、タイムリーって。

A ……だって、認めてないもの、反対だって騒ぐわけにもいかんじやないのさ。

J 先刻からきいてみると、きみたち、しきりに噂だの情報だの云つてゐるが、要するに新聞社から問い合わせの電話があつたことだらう。そんなあやふやな根拠の質問に回答する義務はない、とぼくは思うがね。

I つまり医療団派遣の事実はない、というんですか。

J そんな仮定のおたずねにはお答えできかねる、ということだよ。

市橋 質問の根拠は、組合員の生命の安全、大きく云えば日本の平和をまるる点にあります。今のお答え、派遣の事実を否定しない、とうけとつていいんですか？

——アナウンス。「市橋さん、市橋月江さん、事務室へ至急おいでください……」

A ……ちょっと待つて！

I ちょっと待つた。

A ……質問に行つてゐる執行委員を事務所が呼んでるんだよ。

……うん、くさー！

——B・Cセクション2へ。

H 呼んでいるようだよ、市橋君。

市橋 夜勤あけで非番です、私。

H 勤務変更もあるんじゃないのか。

I え、あんたら、しくんだんだな。

H 団体交渉でもない以上、看護婦が業務で呼ばれるのは当然のことじやないか。

K そういうやり方で話しあいを、こわそうと云うなら組合としては東都新聞からの問い合わせ内容を、否定されなかつた事実としてオーブンにしますよ。

J なるほど、新聞記者のゴシップに、日の色かえてデマ情報をまきちらすのも、組合の自由とうわけだね。

——アナウンス。「市橋看護婦、市橋看護婦、至急、事務室まで……」

A よ、なんだろうね、月ちゃん。

B 勤務変更かしら。今朝連続夜勤あけたばかりなのに……

C 彼女にらまれてるものの総婦長だ。

A ……センセイコーゲキ？ 難かしい言葉使いすぎるよ労連は。……そんな調子で日赤の軍事体制化反対って云つても、そのストーガンだけじゃ、頭の上、さっと撫でて飛んでっちやう。……だからさ、そのベトナム派遣の問題だつて、とにかく四ヶ月行つてくれば、郊外にちっちゃな家ぐらい建てられるだけの金にやなるんだから……ナースだって百万ちかくもらえるってことになりや、まさか死んじやつたら元も子もないけど、額以外のとこなら怪我ぐらい我慢する……笑いどとじやないよ。……そなんだよ……そりや、あそぐらひ大衆がすんでいりやちがうよ。ここじゃ、執行部がしようとウケつたたいてなきやならないんだから、大衆の……

市橋 組合としては、ことを構えて騒ぎたるのが目的じゃなんです。はじめに考えていただきたい、国民の健康をまるる医療機関として、その中心として信頼されている赤十字病院が、自衛隊との協力関係や三矢作戦計画にくみこまれることで受けている疑惑を、ベトナムの戦争にまきこまれて決定的にしちゃ困る……いえ、させられないから……

J 見解の相違だよ、それは。

B なんだ、なんだ、こゝでもケツたたく話。

C これ以上ケツたたいたら化けてでるよ、私たち大衆は。

B ほんまに好かんわ、大衆って云われるの。

C でも、白衣の天使なんておだてられてフクロウみたいに連続夜勤やらされるよりましさ。

A ちょっと静かにしな。……ううん、へたりこんで寝ごと云つてんのよ、くたびれた天使が……

—— G、油谷、セクション4へ

O おや、市橋さん。さつきからのアナウンス、ましてなんですか。

I 組合業務です、ほくら。

H ほう、いつから組合業務が、病院の業務命令より優先することになったのかね。

G 緊急事故者の交替で、準夜勤務についてあらうために呼んでくるのよ、市橋さん。

I そういうやり方、卑劣だと思いませんか、ええ？

G やりかたもなにもなりでしよう。看護婦は患者の命をおあざかりしてくる、と注意してくるんですよ。市橋さん、あんた拒否するの。

J 組合活動については、相当優遇されてくるようですな、こは。

市橋 三十時間連勤の直後、准夜勤につけるのが優遇かどうか、これも見解の相違ですね。……回答をうかがいます。……総婦長さんが油谷先生を呼びに行かれたのは、そのためでしょう。さつきの質問の二番目については、具体的に油谷先生と梶浦婦長のお名前まで出てるんですから。

—— D・Eがセクション2へ。

C 残念でした……さつきから呼びっぱなしよ、お宅のヅザー。
D よ、よ、ホットにしてピックなるお知らせ一

A うるせえな、全く……がう、こっちのこと。

B ベトナム行きのナース梶浦婦長だつてよ。

E したがいまして、ドクターは……

D 油谷先生……

B 何のこと、ベトナムって？

A お、それほんと？ ちょっとまち……

D ほんとも何も、ねえ。

E 支度金が百万円だって……しびれる！
A もしもし、やっぱり本当らしいわ……

油谷 そのこと、梶浦婦長がふきいたところのか。

K それはですね……

市橋 話してくれました。

H 梶浦君が……

市橋 さつき、組合へ来て。

油谷 嘘をつきたまえ……きみの小細工だひつかかるほど、僕は間抜けじゃなさいぞ！

市橋 そうですが……梶浦婦長にこゝへ来てもらつたらどうでしょ。

油谷 なるほど、対決しようというわけか。……ううだらう。

J 油谷君……

油谷 総婦長、ご足労だが。

H 油谷先生……

C あの……はい。（出て行く）

市橋 ちよつとたのむわ。（出て行く）

E まず、そりだな……を、トンカツたべる。

D カキフライで我慢しちゃった二五〇円のあれか。まだ九十

九万九千七百五十円のこってり、それから……

E それから……クリーミバフェか バイナップル……

D だめだ、あんたみたいなしみつたれじゃ、百万円使いきる

までに、おばあちゃんになっちゃう。

C 百万円あれば、看護婦やめて一年位寝てくらせるけど、や

E っぱりやめた。

C そうよね、死んじゃつたらおしまいだわ。サイゴンだって

E 安全じゃないそよ。

D でも、ベトコンはアメリカしか狙わないそよ。

C 結局はアメリカのために行くんだもの、やられても文句云

E えないわ。韓国の兵隊なんて、かわいそりじゃな。

A ひとごとみたいに云ってるけど日韓条約通しちまうと、自衛隊や日赤がああいうことになりかねないんだ。……もしも

E し、医師は油谷先生、外科の……

B 婦長さん、どう思つてゐるのかしら。

D 百万円に鈔られたのよ。お金しかたよるものないんだもの。

油谷 次の時代の病院の中核になっていく、若い医師、技術者

の君たちが看護婦の下働きのようなことをひつまでやってい

E るのかぼくには解せないよ。……そろそろ、専門の分野で一

人前の技術を發揮できるよう、欲をだしてもらいたいもの

だね。……医療団の海外派遣の問題にしたつて、ベトナム云

々は何かの誤解だろうが、口を開けば軍事協力だのアメリカ

への従属だの云つてたんじや、少し単純すぎないか。……

平和を希求するのは医師として当然だが、日本医学の今日の水準が過去の軍事医学に大きく負っている点はもつとリアルにみつめる必要があるんだ。……国際的な場での臨床研究のチャンスを、左翼の平和理論にしがみついて失うのは、ぼくに云わせりや愚の骨頂だ。

H そう、望みたいねえ、エリートとしての自覚を。

J 全く同感ですな。労働者根性になすんだ看護婦とはちがうんだから、君たちは……

——アナウンス。「梶浦婦長、梶浦さん、おいでになりま

したら、部長室へおいでください……」

A ……勿論、それは確認とつてから……うん、うん、派遣とされれば玄関前に宣伝カーまわしてめぐつて、反対のアピー

ル……

——市橋、セクション2へ。

市橋 ね、梶浦婦長みなかつた？

B 手術室でさつき、貧血おこして……

A あ、月ちゃん、梶浦婦長のさ……

B 市橋 第四病棟へ行ってみたんだけど、ひなうのよ。

B 私たちで仮眠所へつれて行つたんだけど……

市橋 どこへ行つたんだろう……

A ね、月ちゃんたら、これ労連からだけど……

どうだつて、質問への回答。

市橋 待つて、あとで……

A 労連の宣伝カーまわすから、ジャンジャン暴露しろつてうんだよ。

市橋 だから、彼女つかまえて、直かに喋らせるんだ、連中の前で。……そのこと云ひに来たにちがいないんだから、午前中。（去る）

E カッカしちやつてら。

B 何だか吊しあげるみたい、婦長さん。

A さたりまえだらう、なに云つてんのさー ベトナムへ行くなんて、アメリカ帝国主義の侵略に手をかすことなんだよ！……もしもし、その婦長の口から直接云わせようつて……うん……うん。

D だけど、彼女が行かないと、その百万……

C 何、あれ？

B なに……？

C ん、何だか……

C おーいって呼んだみたいな声が……

J 空耳ですよ、ねえ部長。

H うん。……しかし、おそいね。

油谷 ……（出で行きかける）

G ……油谷先生、ちよつと。

F 油谷 む……？

G ……油谷先生、ちよつと。

F 大変よ、大変……梶浦婦長が

A どうしたの？

F 落ちたの、四階の非常階段から

油谷 梶浦君が本館から落ちたそうです。即死……ということです。

市橋、セクション4へ。

舞台くらくなる。

音楽。

スライドI、II、IIIに劇団名と公演番号／作者と上演

戯曲名／演出者と作曲著名。

第二景

——舞台前面に、白と黒の合唱隊。

J 勿論ひとことでもいえば／敵に／その黒い機構に。

D 黒い機構。

G その機構にくみこまれ／のぞまなかつたにせよ／汚してき
たから／その手を。

E けれど最後に／あの人は…：

K くみこまれるのを拒んだ／けれどおそぎたんだ／もう一
L ぼくたちの舞台が／梶浦キクの死　そして彼女の生きた
道を追う前に／彼女を生みそだてついに殺した機構／日赤

——そり／白地に赤い十字のマークがそのまま医療・病院の
シンボルとなり／病気のとき／出産のとき／あるいは親しい
だれかを見舞つて／あなたもその門をくぐる日本赤十字に
とじた。

D 鼻腔からあふれた血あまりは洗いながらされ／いまは痕跡も

ありません…

E いまは痕跡もありません／けれどのこつた疑問は洗われは
しない／彼女は何故死んだか。

白全　なぜ死んだか。

H ぼくたちはそれにこたえなければならなんだ／それが難
しいことだととしても。

A そう／こたえなければならない。

I 人間が死んだのだから／人間の生命ほど尊いものはないの
だから。

B そう／尊い人間の生命。

F その生命を／彼女は自らうばつた／もっと正確には／うば
われたのだから。

C うばわれた／誰だ。

H 日本の医療機関の名門といわれる日本赤十字病院は／天皇
の奥さんを名譽総裁に美智子さんを副総裁にいたたく／特殊
社団法人日本赤十字社の／いくつかの事業の中心だというこ
と。

I 全国に分布する日赤病院は百十一／職員の総数は一万八千
／うち六〇名にあたる一万一千人が看護婦であり／日赤以外
を含めた日本の看護婦の総数は二〇万にちかくということ。
J 日本赤十字社がつくられたのは／富国強兵をとねえた明治
政府が／大陸侵略の牙をとどはじめた明治二十年／看護婦の
養成はさきたるべき戦争にそなえてはじめられたということ。

F そこで貧しい農村出身の娘たちは／博愛と忍従のナイチン
ゲール精神で教育され／一日十五時間もの搾取をごまかすた
め／白衣の天使という美しい名でよばれたところ。

G 二十年の応召義務でしばられた天使たちは／日清日露には
じまつて太平洋戦争まで／一銭五厘の赤紙一枚で／従軍看護

婦としてかりだされたということ。

K 敗戦まで六年／天皇と軍閥に密着した日赤の歴史は／博
愛人道をモットーとした万国赤十字の精神からそれこ／日本
帝国主義の侵略戦争に全面協力した歴史だということ。

L 「傷だらけの天使」一篇は／ぼくたちの告発！

黒全 ぼくたちの告発！

K 日本赤十字の歴史…

G 日本国民の幸福と利益に反した歴史を…

F その歴史をゆがんだまゝ受けつこうとする／現在の日赤の

黒い機構…

J その黒い機構を告発する！

全 告発する！

I 心やさしい梶浦キクを／死に追いやった日赤

H 日赤を支配するさらに巨大な機構／そこへぼくたちはたた
かいをいどむ！

E 私たち五人は／事実をのべ…

D 事実をのべ／真実を訴え…

C 真実を訴え／告発し／

B 告発し／証言し／場面ごとに

A 場面ごとに異った看護婦に扮する…

白全 白の合唱隊。

I 私たち七人もまた…

F 衣裳は黒のこのまゝで…

K 僅かな特徴をつくることによつて…

H 最初に登場する／広島市役所の吏員に俺が扮するようだ：

J 場面ごとに異った人物に扮して…

G 三人の中心人物の劇行動をたすけ…

L 劇行動をたすけ／ドラマをすゝめる…

黒全 黒の合唱隊。

—— 音楽。

—— 舞台くらくなる。

—— スライドⅠ、Ⅱ、日本軍の敗退をしめす写真。且に
「昭和十八年、十六才の梶浦キクは従軍看護婦にあこ
がれる」

—— セクション4の前にスポット。H。

H わしは広島市役所兵事係の者です。兵事係ちゅうても、若
いお客様には何するところかわからんでしょうが、この芝
居の時代にやまんだ徵兵令いうもんが生きとつて、男ははた
ちにさればいわゆる兵隊検査をうけて、甲種合格ならそのま
ま入官、第一乙種以下でも戦時召集がかかれれば入隊、出征せ
にやなんかった。この徵兵召集のあつかいをするのが兵事
係です。召集令状のことは、この通り紙の色から赤紙と
も呼ばれて、こいつをわしから受けとると、そろそろ自分の
番じや思ひよる者でも顔色が變るんじや。大きな声じや云え
んが、配つてあるくわしもきまりいいきもたはしやせん。

……とくべつ、これから行かにやならんこの梶浦シゲルのところをなんぞは、タクシー運転手のおやじが役所に出入りしつつて顔なじみじやあるし、貧乏人の子だくさんで、七人の総領のシゲルがようやっと紙工場の職工になって稼ぎはじめたばかりちゅうとこですけえ、どがいな顔するかと思うと……いや、しかし、兵事係がこがいを思想をのべとつたら、それこそ鬼畜米英の思想謀略にひつかかつたるいうわけでたちどころに憲兵隊行じや。こゝは心を鬼にして……梶浦さん、梶浦シゲルさん、召集令状です。いや、おめでとう！

——セクション4くらくなり、セクション1にスポット。

F.

F 梶浦シゲルの母親です。千人の女人に縫うてもろうた腹巻しめていれば弾にあたらんという千人針をあの子にもたせてやるために、こうして広島の町の辻に立って通る人に縫うてもろうとするところです。……あの、出征兵士のために一針縫うてやつてつかさり。へい、長男にお召しで。おかげさんで天子さまのお役にたてるようになります。わしもこれで軍国のお母ですけえの。へい、おおきに。……もし千人針をおたのみします。へい、明日の朝の出發ですが、ほんまにだんだん急になりますな。でもあんた、これもお国のためにすけえ、苦情いらたらけりやしません。……けん云うても父ちゃんのタクシーにやガソリンの配給がないし、シグルの下のノブは女子挺身隊で工場にひっぱられる。その下の

キクが高等小学校おえて相生町の竹林病院に住みこんだちゆうてもひとり口が減つただけ、その下にまんだ四人もこまいのが口をきけて待つとるんじやけえ……へい、こりやおゝきに徴兵検査ですか。それがんた第二乙種でしたけえ、まず赤紙は来んじやろおもひおったんです。……そこのお嬢さん、千人針を縫うてやつてつかさり。あんた幾つになりんさる。そやつたら卯年ですの、惜しいの寅年やつたら年の数だけ縫うていただけんじやが。それはの、ほれ、虎は千里行って千里戻るちゅうでしようが。おおきに。……虎のように千里行って千里戻つてもらいたい。軍國の母じやの、靖國の母じやのいわれても、手塩にかけた子に死んで帰れなどとよういえんです、母親には。……おねがいします。千人針を一針縫うてやって……

——セクション1、くらくなる。

——「出征兵士をおくる歌」

——セクション3に照明。祝出征のぼり旗が一本。前庭に燃えるような葉鶏頭。そこにKと梶浦。背後にシルエットでH、I、J、L、F、G。

K 梶浦 病院暇もろうとんできたら、お勝手が忙しゆうて、なかなか二人きりになれんじやつた。兄ちゃん、出征おめでとう

り、ことわりせんをらんとすうと思つとつたのよ。……ほん

まに、お世話になりました。……ありがと。

K なに云ひだすんじや、阿呆。

梶浦 その、阿呆もきかれんようにならの……（涙をぬぐう）
ああ、十六年の借りかえして、気が軽くなつたわいの。

E 勝手をヤツちやの。

梶浦 これ、うちの餞別。少なはんじやが、月給十円じやけえ
ね。

K わしや今日から日の丸結与じや。……母ちゃんにやつたら
ええ。……もう逃げだしとうはなくなつたか、病院。

梶浦 辛うても、歯くいしばるわざの。母ちゃんの負けん氣と
父ちゃんの丈夫な体うけつどるじやけえ。……あの方、風
邪葉ぐらうたら、もううちひとりで調剤するんで。

K 怖ろしいの

梶浦 アスピリンなんて、ろくに配給ありやせんでしょ、半分
はウドン粉よね。でもチヤンと擦るんじやけえ不思議じやね。
(笑う) ……兄ちゃん、どきに気持、戦争に征くけさの心境。

K おなどに聽かせたって、わかりやせん。

梶浦 純粹な透明な気持じやろうね。自分だけのことやら、世
間のうるさじことやら全部ふりきつて、自分の生命が日本の
運命と一本につながる……

L シゲル君・

K キク、家のこと頼んだぞ。……ノブは挺身隊で今日だつて
出ちやこれんだじ、父ちゃんにも運送の方で徵用が来ようも
しれん。そしたら、体の弱い母ちゃんがの……

梶浦 でも、うち……うちな、看護婦になろう思うんよ、日本

赤十字の。

I さあ、シゲル君・

——セクション4にスポット。J。

J 梶浦、そりゃ立派を考えじや。教え子のお前が、赤十字の

従軍看護婦としてご奉公したいちゅうは、先生の愛国教育が
みのつた訳でほんまに鼻が高じぞ。……そもそも明治十年西
南の役に際して、佐野常民がおこした博愛社が、その十年後
日本赤十字社として発足以来、つねに天皇、皇后両陛下をは
じめたてまつり、皇族がたのあつた御仁慈をうけてきた看護
婦ちゆう職業は、日本女性最高の聖職じやけえの。……いま
や一億一心、鬼畜米英うちてしやまんの非常時に、わが皇軍
の尊い生命を守りするじうことは、とりもなおさず、この
聖恩にこたえ奉る大和撫子のつとめじや。……いや、先生は
お前がお国の期待にこたえる人間にそだつたのを誇りにおも
うぞ。

——セクション4へ入り、セクション2にスポット。
G。

G キクちゃん、それはほんまに健気な考え方じや。先輩として
うちも鼻が高いわーの。……赤十字の従軍看護婦いうたら、

あの青い制服がキリッとしてええスタイルよ。あ、スタイルいうたら使つちゃならん英語じゃった……それに、あの竹

林病院にねつたじゃ、いつまでも女中や子守ばかりやらされて、さきさきのたのしみはありやせんけど、一人前の看護婦になつて従軍してみんさい、お給料も手当がつくし、段々にや出世して父ちゃん、母ちゃん、左ウチワで暮らせるようになろうで。

——セクション2、一たん暗くなり、再び梶浦とKを照らします。

梶浦 昨夜、兄ちゃんの出征の知らせを聞いて、うちは決心した。……兄ちゃんは今日から兵隊になつて、直接お国のためにたかひんさる。姉ちゃんも産婆戦士でがんばつとる。……うちも日本のために、力いっぱいご奉公したい。それには従軍看護婦として、傷病兵のために働くが一番じやおもうで。……どうじやろ、兄ちゃん。

F シゲルよー

K お前がよう考へて決めるなら、それでよからう。……お前は若いんじやけえ、ほんまにしあわせになつてもいいと思うんで、兄ちゃんは……（消える）

会員 （梶浦をのぞく）梶浦シゲル君、ばんざー！——ばんざ

—5—

——「ばんざー！」のエコーに重って「天にかわりて」の

うた。

——梶浦をのこして舞台くらくなる。

梶浦 うちが従軍したら、前線であるかもしけんね、兄ちゃんなど……

——梶浦のあかり消える。

——スライドⅠ、Ⅱ、従軍看護婦、題に「昭和二十年春、

梶浦キクはくりあげ卒業で応召、大陸へ」

——「婦人従軍歌」

第三景

——スライドⅢ、「昭和二十年八月」、スライドⅠ、広島

への原爆投下「八月六日」、スライドⅡ、長崎への原爆投下「八月九日」、スライドⅠ、対日参戦したソ連

軍「八月九日」、スライドⅡ、降伏をつたえる新聞

「八月十五日」スライドⅢ、「梶浦キクは中国大陸で

この八月めぐりあう」

——遠雷のような砲声、市街戦をつたえる機銃小銃の弾音。

スライド、C、O。

J つけエ！ 油谷中尉との敬礼、かしら中一 なおれー

残務要員全員集合おわりました。

——セクション明るくなる。油谷中尉、JとA、Eと梶浦。

浦。

油谷 やすめ。……既に兵長から聞いていたが、最後の

トランクが駅から病院に戻る途中、ヤンズローで敵襲をうけ破壊されてしまった。そのため、病院撤収についての方針を急拵次のように変更するから注意して聽け。……一つ、残った重症患者は病院に残留してもらう。きわめて遺憾であるが

これらの患者を厭まではこぶことは現状では不可能であり、それを強行して犠牲を出すことは、すでに乗車している多く

の患者の後送に支障をきたす結果になる。……食糧各自二日分と、非常の場合自決するための薬物を支給し、玉音放送にお任せの通り、忍びがたきを忍んで悠久の大義に生きるよう云いきかせてやれ。遺書、遺髪をあずかつたならば、必ず護婦は以上の任務をおえたら駅へ急行する。その場合、全員が金魚の扇のようにつながって行くのは……

梶浦（次ぎだす）

D 梶浦さん！

油谷 おかしくありません！

梶浦 おかしくありません！

油谷 ……危険であるから、二名ないし三名づつ区分する。そ

の指示は兵長からうける。……三つ、万一不幸にして途中敵襲をうけたならば、戦陣訓のなしえるとおり、生きて虜囚の辱しめをうけず、また救いをもとめてルイを戦友にあよほしてはならん。看護婦が帝国軍人と同様にたまわっている従軍の榮にともいいたし、いさぎよく自決して皇國の花と散れ。

わかつたな。

全員 はい！

油谷 敬礼はいらん。

油谷 おわり。

J つけエ！

J 解散します！ 解散！

——看護婦たち、去る。

J ……油谷中尉ども、あの玉音放送は、おしゃことのだけ具

合がええさかじよう判らんのやけど、つまり勝つたちゆうことだっしゃるか。それとも……

油谷 ポツダム宣言をうけ入れての無条件降伏だ。

J やっぱり負けですかいな、やれやれ。

油谷 この際、看護婦の士気をおとさんように注意してくれ。

広島、長崎の被爆についても、全滅などいう表現はせんようだ。それから満人、朝鮮人には終戦の事実を気どらせなうに。まひよか。

J ヘ。……病院の秘密文書もきょうさんありますな。手伝

油谷 ここはほんがやる。時間がなから、下を監督しろ。

J、去る。

—— J、セクション2、3、をかるくなる。3には床の間に身

をよせ合ってFとG。

G だんだん鉄砲の音ちかくある。……病院の中、死んだよう

にシーンとして……ね、二人だけが棄てられただとかがうか。……朝鮮ビイだから、歩けないから、おいて逃げたどちらがうか。

F ……。

G もし、ロシアの兵隊、ベーロの兵隊、ここへ来たら……ア

イク……アカの奴ら、おそろしくてこうよ。

H 兵隊なら、支那だってロシアだって同じさ。寝ればいいんだろう。おそろしこと、全部日本の鬼がやつてくれたじゃなか。これ以上、おそろしこと……殺されたって、誰も泣いてくれるわけじやなし……

油谷 誰だ？（拳銃をかまえる）誰かいるのか……（汗をぬぐう）

G 日本敗けたぞ……使役の満人がそつとおしえてくれたよ。朝鮮独立するぞ。……独立のこと、話してたひへんだったよ。

その言葉のため、何万人の朝鮮人殺されたんだよ。鉄砲で殺して、火で焼いて、土に埋めて、みんな脛にしてしまった。

F 脣にならない人もいたわ。……独立の話すれば、目の中に黒い火がもえて……

G ……かわいそうに。

F 独立したって……帰って行けるところじゃなく。日本生まれの朝鮮語もはなせない、けがれた体のわたしらに。

—— セクション2、3、C、D、追って梶浦。

G どうしました。

梶浦 うち、できません……

D あんた、また、うちだなんて！

C 何ができないとこうのです。

梶浦 通つてでもつらつとくから、置いてかねいでくれるうて

泣いとる兵隊さんに、薬を……

D 何を云ひだすのよ、梶浦さん。軍医どの大切なお話中に

ふきだすかと思えば今度はご命令が実行できなんて……

恥かしいことよー

C 自決をするのが氣の毒だと云うのね。

梶浦 うち……うえ、私、駅までおあつてひきます。だから

皆で一人づつ……

D そんなことをして私たちが共だおれてしまつたら、より

多くの白衣の戦士をお守りできなかから軍医ども涙をのん

で、あゝ仰云つてゐるんだと思うわ。

梶浦 でも裏返りもようできん兵隊さんを、このまゝ……

D あんた、私には血も涙もないって云うの。私たつて……私

だつて、くやし……

C 落ちつきなさう。……油谷中尉どのは、この病院に転属さ

れて日は浅いけれど、私たちの直属上官です。日赤が軍と一

心同体である以上、上官の命令は天皇陛下のご命令です。絶

対です。……できるとか、できないとか私たちが口をはさむ

ことは許されません。

D 私、患者さんにおねがひしました。私も、任務が終つたら

……死にますから……って。

C それが日本人としての本当の人情です。名譽の戰死と同じ
ように、立派に自決した兵隊さんのことは、天子様がちゃんと
と見そなわしておいでです。……わかりましたね。

梶浦 ……はい。

C こゝは……?

D 半島の……あの、スピロヘータです。……臭いんですよ。
とても。

C でも、あれも日本の女だし、もしものとき恥になります。
薬、あてがつときなさい、梶浦さん。

——○、D、去る。梶浦、セクションる。

G ああ、看護婦さん。……患者の兵隊さん、まだいるですか。

G わたしら、このまま置いてかれるのこと、ないですね。
みな、いるのですか。

梶浦 ……

G 看護婦さん、連れてつて下さり、たすけてください

G ウソついてる、顔がまっ青だ……ちゃんと見たわ。患者の

F 兵隊みんなトラックへ乗つた。残つてゐるのは歩けない者だけ。
炊事の満人が云つたとおりだ、あんたら朝鮮人は棄てられるぞって。

G それ、ほんとか。

F あんたが可哀そうだから黙つていただけど、日本の鬼、オエ
ノムめ！ こんどは、わたしらを殺して来たんだろう……

梶浦 そんなどと……

F そんなことなうつて。じゃ、そこであつて来たのは何？

a アイグー

梶浦 殺すなんて。……でも、本当のこと云うのが辛かったんです。ごめんなさい。……あの、携帯口糧と、これ、もしも

のとき。

F もしものときって、どんな時。

梶浦 それは、あの。

F 慰安所の女に、もじものときなんかあるもんか。

梶浦 そんなこと……恥かしいとおもわないので。

F 恥かしい？

梶浦 そんな目にあうくらいなら、私だったら……死にます。

……あんた方だって、日本女性なのよ、立派な。

F じゃ、いいこと教えてあげようか。……その立派な日本女性のわたしが、二年前、海をこえて連れてこられるとき、従軍看護婦いう名前で募集されてきたのよ。

梶浦 従軍看護婦……？
F いまのあんたのように、青い制服で兵隊さんの世話をるのが、わたしの夢だった。……たしかに兵隊さんの世話をさせられたわ……妊娠しないように手術されて、逃げださないよう檻に入れられて、一日に二十人も三十人の兵隊……誰がのむもんか、こんな薬。

梶浦 嘘！ 嘘だ、そんなこと！

F 嘘だつて……あんた、こんなことで嘘がつけると思うか、人間に！ 女に！ 私だったらって云つたね。あんた、舌かみ切つて死ぬか。死ぬか死ないか見たいよ、そういう目にあわされる日本人のあんたを！

梶浦 ……（顔をおおつて去る）

G たすけてください、看護婦さん！

セクション4へ、J。

J 油谷中尉との、をきまへんで。

油谷 どうした？

J 炊事の使役に来よつた満人が、昼から消えてしまって、残つた奴らに聞くと、病院の徵収のことやら、中尉との前におられた部隊は細菌兵器の研究実験しよつた秘密部隊やなどと云ふらしょりませんね。……ひょっとかするとあいつ、パーロのスペイやあらしまへんか。

油谷 細菌兵器のこと？ よし、残務要員を徵収する。駅への道は？

J ショウカイセキの方は漫々的やさかく、保安隊本部の裏からぬけりや、まんだ大丈夫だっしゃる。

油谷 西門に集結させて、順次班ごとに出発せしろ。

J 中尉どのは？

油谷 これだけ整理して行く。

セクション4に梶浦、追つてC、D。

油谷 誰だ？

梶浦 軍尉どの、おねがいです！

C 梶浦さん。

油谷 何だ？

梶浦 あの二人のひと、つれてってやってください。
油谷 二人？

C 慰安所から廻された朝鮮の女……

油谷 何だ、薬は与えなかつたのか。

梶浦 はい。

油谷 なぜだ。

梶浦 その人たちが歩けます。一人は私がおぶって、……

油谷 なぜ、命令どおりにしなかつたかをきいているのだ。

梶浦 ……よくわかりません。

J 阿呆やなあ、何になるんや、あんなバイドクたかり助けて。

油谷 お前たちは出発しろ。

J へ。

O 梶浦さん、あなたは従軍看護婦として皇軍将兵を守る任務

があります。私情で負けちゃいけません。

D 半島のあんな堕落した人たちに、情をかけたって無駄よ。

J 敬礼！（J、O、D、去る）

油谷 なにが、よくわからんのだ。

梶浦 連れてつてただきたのは、かわりそだからじゅありません。……あの人たちに、日本人が、日本がじっと見ら

れてるようを気がします。あの人たちも同胞だし、天皇陛下の赤子だという事を、そのをかしを連れていくことでたてたんです。間違っていますか。

油谷 む……じつと見られてるが。病院撤収の内容を、お前話したのか。

梶浦 いいえ、炊事の満人からきいたらしいです。

油谷 それで連れて行くと約束したのか。

梶浦 ……はい。

油谷 それじゃ連れて行かなかつたら、おれたち……日本軍をうらむだろう。

梶浦 連れてってれますか？

油谷 うらまれては困る。……此處へつれて来なさい、荷物はもたずた、ひそいで。

梶浦 はい。ありがとうございますー（転がるようにセクショ

ンゾ）

油谷 うふまれては困る……（拳銃をぬいで三人を待つ）

——セクション1の前に、白の合唱隊

E 梶浦キクはおもじがえるー

D 禿鷲を鳩に／狼を羊にー

C フアシストを善意の人間にー

B 私たちが／侵略戦争を聖戦とおもじがえたようだー

A 三人の女を殺すため／ピストルをかまえていた油谷中尉を・

梶浦 さあ、一緒に行くのよ、軍医どののお許しがでたのよ、連れていくって。早くして。……荷物はもっていけないから金目のものだけは体につけなさい。（二人のしたくをたすける）よかつたね。……どんなに辛くても、汽車に乗りさえすれば……だから、落伍しないようだ……（Oをおぶいながら

F () はやく軍医とののところへ。

G 助けておくれ、アイグ……

——E、セクション4へ。

油谷 看護婦はどうした？

F あとから。

油谷 西門を知っているね。……先へ行つてなさい。

——油谷、去るFを後から射殺する。誘発されたように外

の銃声。

G アイグ……

梶浦 しつかりつかまつて。

——油谷、逃げかけるが一旦戻つて

油谷 おい、看護婦！ はやく来へ！

——奥で扉をうつ音、叫喚。

——油谷 逃げ去る。

——梶浦、セクション4へ。

梶浦 軍医との一油谷中尉との…

——銃声、硝子の碎ける音。

——梶浦にスポット残つて舞台くらぐなる。
——音樂。

——セクション1にスポット、白の合唱隊。

G ああ、どうした、看護婦さん。

梶浦 一緒に行つたわ、軍医とのと……すぐ追いかけましょう
……手を出して。

G 注射？

梶浦 ……元気が、出るようにな。(Gに注射を施す)

G 看護婦さん、ほんとに元気が……歩けるよ、ホラ、歩ける
……さあ、行こう！ (たもれて死ぬ)

——梶浦、自分の腕に注射しようとする。

——扉のこわれるはげしく音。

——梶浦、注射器をすべて、セクション4へ。

声 油谷中尉、武器をすべて出てきなさい！ 人民解放軍は、
残酷な細菌兵器を実験使用したメンバーの一員として、君を
逮捕する。反抗しないで、出てきなさい！

梶浦 母ちゃん！

——スライドⅠ～Ⅲ、解放をよろこぶ中国、朝鮮の民衆。

——耳をおおう梶浦、追われるようセクション4の前へ
音楽、かわって

A 黄塵にはためいて／アジアの盟主を僭称した日章旗は／ひきすりおろされる。

B 広漠の大陸を軍靴にふみにじって／まきちらされた東洋平和の歌は／声もない。

C きょう／白日のもとださる／されのは／大日本帝国とは殺人狂の集団であり、五族協和とはサギ師の論理であり／八絃一字とは強盗の思想であつたこと。

E 鋭剣の権威はうちくだかれ／重いくびきをはねのけた中国朝鮮人民が／ほこらかにうたうのは解放のうた。

B A そのうたがあなたを追う／大陸から半島から。よろこびの底に泡だつ憎しみが／怒りが……

D C G 叫びになつてあなたをつつむ／日本帝国主義打倒万才／鮮放のかけにしたたる血の呪いが／いたみが……あなたの胸を斬りさく／日本帝国主義が私を殺した！

B A ほらきこえる／父を殺した日本の帝国主義……夫を殺した日本の兵隊……

C 私を犯した日本の鬼！

D 日本人が殺した／私の子供を！

E 叫んでる／ほら叫んでる／日本人が殺した！

全日本人が殺した／日本人が殺した／日本人が……（エコー錯線し、UP（OFF）

——スライドⅠ～Ⅲ、広島市被爆状況。

A やつと辿りついたのね／あなたの故郷—広島へ。

梶浦 ここが、私の広島……

B をまだの見るのは／くだかれた瓦礫と音のええた廃墟の街

梶浦 ……母ちゃん、

C きこえて／閃光に灼かれ殺された父ちゃんと姉ちゃんの……

D 梨に敷かれて息えた母ちゃんと弟の……

E 南の島で熱病と飢えたおれた兄ちゃんの……

A 戦争を呪うさけびが／真空の叫びが。

梶浦 不義と侵略の戦争だつたから、それはうちくだかれたんですね。……でも、もう何もない、私には……

B いのき／平和が／かけがえのない平和がよみがえったのよ。

梶浦 そのため、何といいたましい犠牲が……

C だからこそ／平和を／二度と奪われないたしかなものだ。

梶浦 殺された人に、だれが……辱しめられた人に、どう……

D 侵略をおこした者へ／せおわされた戦争の重い呪いを／あなたも。

梶浦 それをせおうのは……私。不義と侵略は、私の中にあります……

E お立ちなさい／一緒にはじめるために／さあ目をひらいて

梶浦 どうして一緒に……殺したのは、私……

——女声の齐唱による「ナイチングール誓詞」

梶浦 ……わが生涯を清くすこし、わが務めを忠実につくさん

——梶浦のスポット消える。

A 梶浦キクが／つぐないのおもいを胸にかえりついた／日赤
病院。

B その日本赤十字にも／敗戦の嵐は吹きすぎんでる。

C 皇室と軍の保護を一挙に失く／連合軍による病院民主化の
指令がだされ

D 昭和二十一年／はやくも労働組合がうまれ／全日赤を結成。
E 団結の力で／看護婦の地位向上と／重国主義者の追放がす
すめられる。

A しかし／六十年におよぶ日赤支配の土台が／根こそぎされ
はしない。

B 彼らは息をひそめて／新しい主人／アメリカの動きを見す
もつてゐる。

C 濫発しそぎた民主主義の切札を／回収しなければならなく
なる／その日を。

D 梶浦キクのかえりついた日赤病院／いまは外科医のふれ
こみでもぐりこんだ油谷元軍医。

E その油谷が／大陸戦線での細菌兵器研究の新しい買い手の
うどきを見守つてゐるようだ。

——舞台、くらくなる。

第四景

——スライド画、「梶浦キクは再び従軍を決意する」
——ジングルベルと喧噪。

——スライドⅠ、マツカーサーと天皇。スライドⅡ、閣市。
スライドⅢ、食糧メーテー。スライドⅣ、二・一ゼネ

スト中止。スライドⅤ、ストライキへの弾圧。スライ
ドⅥ、松川事件。——クリスマスの雑沓と仮面を
つけた顔・顔……。その中へラッシュで、ダレス、

李承晚、吉田の顔。

——セクション3、あかるくなる。ペツトにエ、仕切りの
カーテンの陰に梶浦。

I ……いやだなあ、あの騒ぎ。……朝鮮の戦争で日本中
がアメリカさんの軍事基地、P D工場にされちまつていると
いうのに、こんな絶望的な暗い谷間でクリスマスを祝おうな
んで。……おまけにP Xの闇ウイスキーで、アメリカ仕込
みの乱痴気さわぎを演じてるのは、この戦争で笑いのとまら
ない程ボロ儲けをしている独占に、しばりとられてるその連
中なんだぜ。……ぼくにや、日本人でヤツが滑稽で悲惨な
はしても棒にもからない民族だ思える。ああ、日本人から
逃亡できたらせいするだろうなあ……。

梶浦 そのはしたにも棒にもからない人たちの仲間入りはした

くないんでしょう。もう飲んじやいや。また、体こわしたらどうするの。

【 】 そうしたら又いれてもらうよ。きみの病院だ。

梶浦 ばかなこと云うもんじやないわ。第一、私は……

【 】 何だい、第一、私は……

梶浦 (仕切りから出でる) いいえ、……ごめんですって

こと、あんたみたいな甘つたれの患者さんは。……さあ、

テーブルへついて。はじめましょう、二人だけのパーテイ。

(ローソクに灯をともし、電灯を消す)

【 】 キク。(梶浦をひきよせる)

梶浦 だめよ、もう。

【 】 あんな燃えたくせに……

梶浦 だつて、時間が……

【 】 けとばしまえよ、あとの約束なんか。……ほくの喜ぶ
プレゼントがあるつて云つたろう。

梶浦 プレゼントは、これ。

【 】 何だい。

梶浦 あけてみて。

【 】 どういうの、この金。

梶浦 あなたのいつた額に、すこし足りない。でも、それだけ

あれば、お店の権利は手に入るつて話だつたわね。……だから、私の考え方や、はじめは設備や仕入れをすこし内場にしといて、利潤の中からだんだん拡張していくようにしたら。

【 】 おい、いなかで山の土産物の店つて、のこと……

梶浦 だから、すぐ帰つて開店の準備にかかるきや。……

するする生活費やなんかにつかつてしまつたらだめ。よくつて、それは約束よ。

【 】 待てよ、きみ、本気であること……

梶浦 本気じやなかつたつていうの、あなた。

【 】 そりや、勿論……ほら、店の名前まで考えてあるつて話したろう。

梶浦 エーデルワイス……少女趣味だつて照れてたわ、あなた。

【 】 キク科の多年性植物、ヨーロッパのアルプスに七月から九月にかけて咲き、その優美さは『高貴なる白』の名にふさわしい……ああ、エーデルワイスは、白衣のキクのためにつけた名みたいだな。……どうしたの。

梶浦 ね、約束してね、すぐいなかへ帰るつて。そこでエーデルワイスをひらくのよ。……高山植物の写真をとるんでしよう。一枚一枚壁に貼つておけるような、かわいい写真を。

それをシリーズで売るのね。……それから、画かきの友たちに山の絵を描いてあらつて、お店中かざる。山好きの欲しいつてお客があつたら、ゆずつてあげる。あなたは買ひとりでなげりや画かきがかわいそうだつていうし、私は委託販売でなげりややつていけないつて云いあう。……それはもうどつちでもいい。あなたが、しあわせになつてくだされば。

……エーデルワイスに熱中している、そういうあなたを、胸のここにしまつておきたいの、私は……。

夜はストーブに火が絶やせない。……こうやつて、だまつて体をよせあつていると、遙くから雪崩がこうがる太鼓のよううにひびきあつて……そんな夜、きみはぼくの子供を身こもる……

【 梶浦 ええ、あたらしい戦争がはじまります。おそろしいことだわ。だからこそ、日本赤十字は国連に協力して朝鮮に平和が回復するように、戦争で傷ついた人たち、战火でくるしんでいる人たちを救護する活動を求められています。戦争のためにやなく、平和のためによばれているのだと、油谷先生もおつしやつてます。】

【 梶浦 ええ、私も加わつてしまつた、その侵略者の一人だ。私が行かなければならぬのは、その犯したあやまちをつぐなうため。意識的があやまちも、そうでなかつたあやまちも。それから、私の分も、私以外の分も。】

【 梶浦 ええ、あなたには何でお詫びしていいか。……戦争が終つたとき、私は自分の生涯を、ナースというしごとにうちこもうと心をきめたのです。戦争にふみにじられた、かそえきれない生命、大陸でも半島でも解放のよろこびのかげに、嬁いの声がうずまいていました。それから私の八人の肉身を一瞬でうばつてしまつた原爆……広島には何十万という犠牲者の平和への祈りが陽炎のようにもえていました。戦争の悲惨を一度とくりかえしてはいけない……私は、

【 梶浦 ！（小さい叫びごえをあげて、男の口をおさえる）
【 梶浦 キク……
【 梶浦 さよなら。

——夜空を圧して編隊機の爆音

【 I 約束つて何だ……誰とだ。】

【 梶浦 ……

【 I 油谷——とかつて医者……クリスマス・イヴはかきいれつてわけか、内職も。

【 梶浦 なんて、ひどいこと云うう。

【 I もう帰つてくれ！ その金あつた。

——音楽。「聖しこの夜」

【 梶浦 あなたにお見せします。これ。

【 I ……何のことだ、これ。

【 梶浦 召集令状です。

【 I 召集令状つて、……五年前に終つてゐるんだぜ、戦争は。

【 梶浦 それでも、日付を見て下さい。日赤看護婦には十三年の応召義務がきめられているのです。

【 梶浦 許して下さい。あなたには何でお詫びしていいか。……戦争が終つたとき、私は自分の生涯を、ナースというしごとにうちこもうと心をきめたのです。戦争にふみにじられた、かそえきれない生命、大陸でも半島でも解放のよろこびのかげに、嬁いの声がうずまいていました。それから私の八人の肉身を一瞬でうばつてしまつた原爆……広島には何十万という犠牲者の平和への祈りが陽炎のようにもえていました。戦争の悲惨を一度とくりかえしてはいけない……私は、

【 梶浦 あの戦争は終りました。
【 I ……じゃ、きみは……

尼寺へ入るつもりで日赤の監居をまたいだのです。……

だから、あれから五年、自分でいうのはおかしいけれど、身を粉にして働いてきました。……ひとをだしぬいて出世したいからとも、同僚を苦しめる結果になるとも云われたけれど、でも私には「心より医師をたすけ、我が手に託された人びとの幸せのために身を捧げん」というナイチンゲール誓詞をよりどころにするしか生きようがなかつた。……あなたとおあいするまで。

I ほくが堕落させてしまつたのか、その「高貴な白々」を。

梶浦 私にも幸せになる権利がある、そういうおもいが芽吹いたのです。ささやかな女のよろこびが、あなたと一緒にもらえる青春が。

I キク。それが本当のきみだよ。ほくはきみを幸せにしてみせる。ね。破いてしまおう、こんなもの……

梶浦 いいえ。……これは自分の幸福にすがりつこうとしていた私の警告ですわ。朝鮮の黄色い土へのつぐないの機会を、国連軍が与えてくれたのです。……幸せになつてね。

私のためにあきらめないでね、エーデルワイスを。

I だけど、帰つて来るんだろ。……三月か、それとも……

梶浦

……それは……私だも。秘密なんです、このこと。

→ 再び爆音

→ セクション3、くらくなる。

→ 音楽

→ セクション4にスポーツ、田の合唱隊

A 信じられないけれど／これは事実です！

B 戦時中そつくりの召集令状で／かり集められた日赤看護婦は／九十六名

C その他の看護婦を加えて／一千名

D 行先は九州福岡／米軍基地内の軍病院

E 目的は／国連軍という名のアメリカ傷病兵の看護

A 朝鮮帰りのアメリカ兵に／一番多い病気は性病

B その性病をうつされ／ガムのかみ津のように棄てられた看護婦は多い

C いつわりの愛にだまされ／オノリーに転落した看護婦も多い

D 国連協力の美しい名にかくれたこの事実に／日赤も政府もアメリカも／はおかりして責任をとつていないと

E それどころか／昨年十一月二二七日付の各新聞は

A 埼玉県狭山米軍基地に

B ベトナムでのアメリカ傷病兵のための／野戰病院が設けられたと報道し

C このため／ことし日本の病院では／看護婦が一層不足するだろうと

D 長期療養者の間で／不安がささやかわされています

E これは日本政府がアメリカのベトナム侵略に／なしくずしに手をかしている事實をものがたつています。

——スライド——・朝鮮戰線。

——アナウンス。「ヒバリ2037に關係ある一般職員の方は受付四番で國連軍將校の指示をうけて下さい」
(日本語と英語でくりかえされる)

——ジエット機の爆音。

J 五分前か。……しかし全くバカげた話だ。ホワイトハウスが、共産主義者の圧力にかけて廢るほど貯めこんだ原子爆弾に手をつけられないとは。鴨緑江まで押しこんだあのとき北京へ二、三発お見舞いしておけば、もう少しあんなクリスマスを祝えたのに。おかげで細菌兵器だなんて、厄介なクセに効果のあがらないしるものを……

油谷 きみのいう効果が単純な意味なら、ミスター・ジエームス。厄介な割に効果のういのはむしろ核兵器の方さ。原子爆弾一発が殺せる人間の数は、都市部で五十万からせいぜい百万だが、見たまえ、このライター一本分のボツリヌス菌毒素は計算上二億人を殺すことが可能だ。

J ……一億。

油谷 牛乳壺半分で、中国は無人の大陸になる。しかも、こいつは通常の方法では消毒が不可能なのだ。

J すばらしいバクテリアだ、そいつは。

油谷 勿論、細菌て奴はすばらしい生きものさ。あんたら、CIAにとつては、要するに敵の戦力が奪えれば何だつて轟わないだろうが、われわれがバクテリアに魅惑されるのは、そいつがもつているすさまじい生命力なんだ。

J わかりますともドクター。われわれOIAは、自由世界の

科学者たちに協力を求めていたが、それはあくまでかれらの自主性を尊重した上でのことですからね。……ところで、

そのバクテリアは……

油谷 皮肉なことに、繁殖力が旺盛すぎて、兵器への応用には問題があるのさ。ご承知のように、貯水池、井戸、川、つまり水を利用しなければならんのは、敵だけじゃないのでね。

J だつたら、ひきあげてしまえばいいんだ、アメリカ人は。……勿論日本人もね。

油谷 それから自分の國の言葉を忘れてしまつた、大統領閣下もかね。

J イ・スウ・マン、あのおいばれ、ボツリヌス菌の餌にしてしまつた方がいいかもしれん。……一分前。どうやら、あなたのアシスタントは実験台よりベットの方がお気に入りになつたらしい。女という動物をつかまえるには、一緒に寝るのがいちばん手つとり早い……こんな単純な原理をドクターが応用なさらんとは!

油谷 それが君たちOIAの哲学かね。

J われわれの網の目は、日本をふくめて地球全体をカバーしている。従つてOIAのプラグマチズムは万国共通の真理だろうじやありませんか。

油谷 ぼくは、自分の看護婦にアメリカ流の教育はしていないんでね、ミスター・ジエームス。

——梶浦。

梶浦 先生 ……

丁 おお、このひとですね、あなたのパートナー。ジャストモンメン……ああ、おキクさん。ヴエリーヴューティフル／名前とのおり、ロティのヒロインです。

油谷 ミスター・ジエームス。国連軍の。

丁 たのしかつたですか、あなたのクリスマス。

梶浦 たのしかつたですわ、ミスター・ジエームス。

丁 ザツツナイス。おキクさん。全国連軍ソージャーにかわつて、これからあなたの提供してくださいるサービスに感謝します……朝鮮に自由と平和をもたらす国連の努力がみのつたら、あなたはマツカーサーから勲章をうけるでしょう。なぜなら、あなたは日本のガーディアンメントのオーダーおよびだされた、女の兵隊なのだから……（笑う）しかし、それは事実だつたのですか。

梶浦 ええ。今朝九州へたつた人たちは、完全装備で「火薬のひびき」を唱わされていましたわ。胸がドキドキしました。

五年前の戦争がそのまま続いているような錯覚がおこつて……

油谷 大変なアナクロニズムが巣くつているんだね。日本赤十字の中核部には。

丁 ノオ、ノオ。むしろ、きわめてデリケートな時代感覚といつた方が正しい。……事実、自由の敵に対するわれわれ十

字軍の戦争は、あれ以来続いているのですからね。……しかも、これはトージョーより十倍も手ごわい。

油谷 主導権をむこうにとられた、アメリカ軍の現状じや、歴史もだいぶ先のことになりそうだ。

丁 どうぞ、国連軍とおつしやつて下さい。ドクター。おキク

さんの胸に勲章を一日も早く飾るためにも、しごとの成功を祈ります。……ほら、呼んでいますよ、平和の鳩が。

——アナウンス。「ヘト4944、塔城の医療関係要員は

受付六番で国連軍将校の指示をうけて下さい」

丁 オキクさん、国連軍の勇士たちが、あなたを待っています。

そして、共産主義の暴虐に苦しむあわれな韓国の民衆も。

……ご健斗をいのりますよ。

梶浦 サンキュー。

丁 じゃ、ドクター。さつきお話をよう……いずれ、一九五一年のケイショウ、あるいはヘイショウで。あなたの協力を得た、わが軍の新しい実験のデータをみていただけますよう。……グソラソク。

油谷 ありがとうございます。

——油谷、梶浦、セクション4へ。

油谷 （立停る梶浦へ）……どうした。

梶浦 いえ。

油谷 ……きみが一般の看護婦と一緒に、九州のG.I.病院に配属されるときいて、大分くいさがつてこつちへ廻してもらつたんだが……

梶浦 五年前、日赤本社へ辿りついて、本当に嬉しかつた……

先生におあいしたとき、油谷中尉のうて、声おかけしたら
先生つたらひとくびつくりなさつて。

油谷 声をかけるなんでものじやない、とびついできたせ、き
みは。

梶浦 ボロボロの恰好で、それでも一生けんまい戻りついて、

精いっぱい申告したのに、支部長さん、ご苦労でも大変だつ

たでもない、いきなり「水筒はどうした!」つて怒鳴られて
ヘタヘタになりそなところで、先生をお見かけしたんです

もの。……あのとき、看護婦はやくせい!とよんて下さつ
た声をおもいだして。

梶浦 韓国伝染病対策に協力するという、こんどのお話伺つ
たとき、嬉しいというより、あの女人たちを助けてあげよ
うとされた先生の、おしことを介助することで、自分が生き
れられるよう奮がして、私……

——油谷、梶浦さん、のこつたす、口笛で「星条旗よ、永
遠なれ」を吹く。
——ジエントラの爆音。
——幕がおりる。

第五景

——デモ隊によるショブレヒコール、「安保一反対!」
「岸を一倒せ!」

——幕があがる。

——舞台中央前面に、白と黒の合唱隊。

F 劇はこれから第二幕に入ります／第一幕の暗い夜から十年
たと／今はシユブレヒコールでおききのように安保の年とよ
ばれた昭和三十五年／そこで劇の始まる前にこの十年の歴史
を考えてもくことにします。

——スクリーンIにスライド、講話条約に調印する吉田茂
ら。

K 昭和二十六年／全面講話を要求する国民運動も四八〇万票
の署名も無視して／ソ連・中共・印度等を除く講和条約が日
米安全保障条約とともにワシントンで締結され／占領時代に
一応の終止符がうたれます。

D 昭和二十七年／この年五月一日人民広場使用禁止からおこ
った衝突で／都職労の高橋正夫さんが殺され負傷者は千名を

こえました／政府はこの血のメーデーを絶好の口実にして一
拳銃で破防法を成立させたのです。

——スクリーンⅢにスライド・内灘斗争。

L 昭和二十八年／有名な「金は一年土地は万年」のむしろ旗
を試射場におもむけて内灘村民のたたかひは／北鉄労働者の
米軍輸送の拒否とをいまって／このうち全国の基地反対斗争
を大きくげます。

——スクリーンⅢにスライド・内灘斗争。

A 昭和三十一年／教育に対する国家統制の復活をもくろむも
のとして／矢内原東大学長はじめ七百余教授の反対
した教育二法案をめぐって参議院は警察を導入／教育委員会
の官選中央集権化がつよめられます。

——スクリーンⅢにスライド・愛媛動評斗争。

M 昭和二十九年／有名な「金は一年土地は万年」のむしろ旗

E 昭和二十九年／ピキニ水爆実験で第五福龍丸が死の灰を浴
び久保山愛吉さんが犠牲になつた年です／一方ベトナム民宣
はディエンビュンマーでフランス侵略軍を殲滅させました／
そしてこの夏防衛庁が生まれ警察予備隊にかわって陸海空の
自衛隊が発足したのです。

——スクリーンⅢにスライド・岸信介と蔣介石。（東南アジア
六ヶ国訪問）

I 昭和三十二年／ソ連が人工衛星第一号の打上げに成功／核
兵器製造を拒否し西ドイツの科学者がグッテンゲン宣言を発
しました／一方沖縄人民党瀬名那霸市長が米軍によって追放
され／そしてこの年悪名高い岸内閣がうまれたのです。

——スクリーンⅢにスライド・警職法反対斗争。

E 昭和三十三年／勧説反対の大たかいのさなか／政府は警察
官の権限を強化する警職法改正案をたしましたが／抗議集会
ストライキの反撃の中で全国に其斗組織が生まれ／国民的規
模の運動によつてこれを葬ります。

——スクリーンⅢにスライド・三池斗争。

H 昭和三十年／ピキニ水爆実験に抗議する下からの申ひるい
国民運動は／三千二百万の禁止署名となり／この力を基礎に
第一回原水爆禁止世界大会が十四ヶ国の代表を集めて広島で
ひらかれた年です。・

J 昭和三十四年／在日朝鮮人の北鮮帰還がはじまり／カストロにひきいられた革命軍がキューバを解放した年です／一方千四百名の指名解雇から三井三池の大争議がおこり／そして三月二十八日せまるたたかいでそなえて安保改訂阻止国民会議が結成されました。

—スクリーンEにスライド、京城での巨大なデモ。

C そして今年昭和三十五年／一月十六日岸を首席とする安保

全権団は羽田から逃げるよう渡米／一方南朝鮮では四月二十五／六日十二年間にわたる独裁政治にとどめをさす五十万のデモが／李承晩を権力の座からたき落としたのです。

G 梶浦キクが／従軍看護婦のやぶれた夢を暗い時代の谷間でつゝえさつた青春を／白衣におしつむように生きてきたのはこうじゅ十年だった訳です／私たちけ三十三才の彼女を舞台でみることになります。

——前面くらくなり、デモ隊によるシエブレヒコール。

「安保一反対！」「岸を一倒せ！」

—スクリーンEにスライド、国会説事堂をとりかかるデモ隊。

——シニブレヒコールたままり、やがて。。。

——スライドE、「梶浦キクは最初の衝撃をうける」

——舞台があかるくなる。

——セクション2。Cは原稿をかき、Dはガリを切ってい

るが、Kのきいているトランジスタラジオに気をとら
れる。

—ラジオ放送の内容

問 そうですか、それじゃテレビどらんになつてて、それ
から駆けつけてこられたんですね。

答 はあ、うちの子供はさつき帰ってきましたけど……と
ても、じつとしてられなくて……危からつていわれた
んですけど……

問 そこにお持ちの、それは。

答 ホーリーと、ありあわせの薬をね……

問 そうですか、気をあつけになつて。そちらの方……
あのね……

答 ひどいですね。そりや学生だつてひきすぎはあるで
しょう。ありますがね。だつてリショウバンのあれだつ
て、韓国の学生が中心でカクメイやつたんでしょ。い
ちがいに、ゼンガクレンがわるいっていえないとおも
んできますよね……

問 なるほど、なるほど……

答 それには、あの……殺すつて法が……ありますか。そ
れも……これからつて娘さんを……殺したら、もうとり
かえしが……つかないじゃないですか！

C 月ちゃんたち、大丈夫かしら。

K なんだ、まだ帰って来てないのか。誰々。

D (唇に指をあてて) 上へは内緒。デモの中で三人だけ別になつちやつたんだって。

K 市橋月江か……

X 看護学校から来ただかりで、イキがじいもんな、あいつ。

C ね、じつしょに行つてみてくれる?

D どこへさ?

C 車拾えは……わるいけど、一時間ばかりたのむわ。気もん

でるの、つらさい。

D 何云つてるの……もう零時四十分よ。第一、行くつたってアテがないじゃなさい。

K チリヂリにされてるだろ? けど……とにかく行つてみよう……きみ、じいよ。(出でいく。)

C すまないわね。

D かけた、機関紙の原稿。

C なんだか、手につかない。……こんなセツバつまたときつて、もの書くなんてことじやない、もつと直接みんなの体ゆすぶつて、すぐ行動させてじくよくな、そんな力がほしいわ。

D やっぱり、外科的な発想ね。そういう衝動は私もうけるけど……

C 三池の医療班に参加したかった。きびしいたたかいの中に体ごとつこんでいれば……。

D 組合に来た医療班のレポートよんだ?

C らん。……本当に安保を阻止する、三池を守るつてことは

医療の三池をここにつくることです、つていわれるど……

D それは、ただ、ここだけやつてりやじつてことじやないよね。こんな状況だから病院を変える、どう変えるかが今す

ごく重要だし、また実際に変つてもきてしるんだよね。……京都の双岡病院や水戸日赤のたたかいで、斗争の中心に

いるのは看護婦だし、その中味だつて賃金問題もあくめて、あまりにも無視された権利の要求になつてしるでしよう。

C それを、どう、この安保改定阻止のたたかいで結合させるか、つてことよ。

D 合理化や低賃金、それに患者さんの要求が、この安保条約と具体的にどう関係してゐるか、そのつながりをハッキリうちだしてくこと。それしか、なじけど、飛躍はできないと思うよ。

C 飛躍が必要なのよ、わかるつてのは今とびこえることじよ。

——セクション2へ、E。

E ちょっと、ちょっと、婦長候補よ。

D 梶浦さんが? ほんと。

C 彼女が寮長ね、月ちゃんとこ。

E まだ帰らないの、三人。

D やれやれ、バレたか。

—— 梶浦 キク。

でしょう。

梶浦 じくろさま。……市橋さん、外出？

D ええ、組合業務で、ちょうど。

E 関係ないですか？

梶浦 にしては、大分時間オーバーね。形成外科のゼミナールおわって、私もいま戻ったんだけど、三宅坂のあたり、まだ

……催涙ガスを使ったなんて……何番だったかしら、

日の出タクシー

C じま、見にいってくれてるね、レントゲン……

E ちがうわわ、婦長候補ともなると。

梶浦 総婦長が？

梶浦 寮のぞきにこられたら……まさか、組合業務で外出中とも云えないと云う。

O でも勤務がすめば、プライベートな生活だわ。

K どうでした？

梶浦 デパートの売子や、食堂の給仕ならね。

C 本質的には同じ労働者よ。

梶浦 医者や看護婦は医療労働者で、学校の先生が教育労働者

でとことうことで、私たちの職業だけ、人の命をまるる

という重大な目的があるわね。商店の店員や女工さんは、うちへ帰れば普通の娘さんでしかなくて、私たちは午前七時から午後四時までナースだとこうどじやなく。極端にいえ

かは眠ってる間も、その使命は生きてる筈よ。

D そういうことへの誇りや愛情を、お説教や規則でつくる

うとするのは、もう古じんじやなくて。……大事なのは、二
十四時間寝られてることじゃなくて、八時間集中できること

梶浦 関係もないデモ騒ぎにまきこまれていて、その集中がで

きるから。

C 情ないこときくわね。私だって夜勤でなければかけつけた

かつたのに。

梶浦 それは、あなたの自由よ。しかし市橋さんたち新しい人については、私が責任もたされている以上、病院の秩序は守

つてもらいます。

—— とびこんでくるK。

K どうでした？

C どうで……ぼくは、組合の……

K じまのよ。いた月ちゃん。

K うん。みんな手がしてくれ。怪我入つれてきてるんだ。

—— Kの先導で、A、B、市橋にたすけられてH、I、F
O、Dが手当を準備しているセクション3へ。

梶浦 ……市橋さん。

市橋 ごめんなさい、あとで叱られます。……気をつけて一

この人、頭を。

H 警棒で殴りつけるんだ、力まかせに。棒きれ一つもつて

第六景

音楽。

——セクション3。H·I·F·Gによつて手術中の情景。

(人物シルエット) 金属器具のぶれあうつめたい音。

セクション2に、梶浦。

梶浦 ……あれは何だつたのだろう。最後にあの人がから氣ぜ

わしくたのまれた……そして、指定されたとおりの時間と
場所で待つていた人にわたした、あのページの袋の中味は。

——セクション3の隅に、L

L それは、きみに關係ない。もう忘れていいことだ。

梶浦 忘れると仰云るの。あの袋をとり戻そうとする人たちの

ために刺されたあなたが、ああして昏睡状態で手術台にのつ
ているのに。……しかも何て設備のわるい病院だろう。

L どうして、あの袋とほくの怪我を結びつけるの。……怪

我は他愛ない喧嘩がもと。わるい事にぼくは酔つていて、相
手の刃物に気ずかなかつた。

梶浦 周到なあなたらしくもない喧嘩沙汰のお話を信じるとお

つしやるの。だつたら、せめておしえて。なぜ私におたのみ
になつたかを。なぜ、私だつたのかを……。

L ……。

梶浦 こしようです、云つて。

L 最低限信頼できる人を、突嗟にえらぶ必要があつた。

梶浦 あなたの敵からも最低限信頼されていの私……突嗟の

メツセンジャーとしては、あなたの審査をパスしたつて事
ですね。

L そういう云い方は、ぼくは嫌いだ。嫌いだけじゃなくて事
実でもない。

梶浦 私を利用したんじゃない、とおつしやるの。

L 届けてもらつたものが何だつたか、それはぼくにもいわば
判らない。……しかし、信じてほしいのは、それがやがて

重要な役割をはたすということだ。日本にとって、日本の平
和にとつて。

梶浦 日本の平和……。それは先生もよくおつしやる。そ
うあなたと初めてお逢いした、北海道での防災演習のときもた
しかその話題でした。

——スクリーン——にスライド、昭和三十七年の自衛隊
防災演習。

——セクション4があかるくなり、油谷とL。

油谷 ……たとえば、この防災演習が、日本の平和というイ
メージを具体的につくつてある。とぼくは云いたいね。……

戦争の放棄だの、軍備の禁止だのという、非現実的な字句を
並べたということで、平和憲法などとよんで悦に入つてゐる
んき者には、平和維持のためにとられてゐる、こういう強烈
な手段を見学させる必要がありはせんか。

L しばらく遙わないうちに、元軍医大尉としての失地を回復したようだな。

油谷 十八年間の情勢の変化にてらすと、ぼくの絶対安静もどうやら必要なくなつたらしいんですね。

L 外科医の自己診断じや、信用ならんぞ。… 力の均衡が平和を保たせるなどといふ、独占お抱え学者の俗論は、十八年どころか、国際連盟時代への逆行だし、第一憲法に向けられた国民の関心は、第九条の抽象的な字句じやなく、まさに日本の平和をどう守るかという内容にくいこんでいるんじやないのか。

油谷 国民の関心か。… 国民といふのは相交らず、服従させてくれる強いたしかなものを、波に流れながら求めている轉反動物みたいなものさ。世論調査の三〇%台をしめる「わからぬい一意見なし」に、どういう力が期待できる。そこでは漠然と平和がのぞまれ、同じくらい漠然と変革がおそれられていてる。

L それが証拠に、映画館も野球場も満員じやないか、と名言をはいて居なおつた総理大臣がいた。…しかし、平和と民主主義にたいする国民の関心を、局部的な弱いものとみるのは、安保改定のあの時期を境に修正した方が俐巧じやないか。

油谷 三年前のあのバカ騒ぎで、イソギンチャクが隣に生まれ変わつたとでもいうのか。

L (樋浦に) どうです…あなたはこいつの云うような、「わからない一意見なし」の部類へくみこまれるのに不満じ

やありませんか。…たとえば、この派手な防災演習をどうみます。…石狩川のはん濫による災害の救護といふがレンジャー部隊あり、大砲機関銃あり、ヘリコプターあり、実戦さながらだ。日赤救護班の活躍よりも拝見したが、模擬患者の治療内容が刺し傷、爆傷、大火でやけどするなんて想定は、風が吹いて桶屋が儲かる以上の傑作ですが…

樋浦 私は「わからない一意見なし」だろうか。…たとえば若い自衛隊員が稳りはじめた稲の穂にふれながら、故郷の稻作を楽し合つてゐるのを私は聞く。…河原に展開される戦斗訓練に目をみはりながら、昔の兵隊と同じだとさきやきかわす主婦たちの表情を私は見る。…そして私自身、かつて大陸戦線で、その後朝鮮戦線で体験した戦争を、この演習と重ねておもい描きながら…演習が演習以上のものにならないことを祈らずにいられない。

油谷 全日赤あたりのお株をとろうといふのか。あの連中の下司のかんぐりに、まともな相手はできないが、防衛問題に首つつこんでいるお前に、アメリカへの協力を最低限におさえながら、国内防衛体制に主力をそそいでいる、現在のデリケートな政策がよめない筈なからう。

L 国内防衛体制といふが、国民收奪の基本線が交らん限り、治安だけを考えてもいたちごつこじやないか。自衛隊、警察をいくら増やそうと、そいつをアメリカへの過剰生産の兵器で装備して、こんな演習をどれだけくりかえそうと、国民の変革のエネルギーは究極おさえきれるものじやあるまい。

油谷 おいおい、お前まさか、革命が不可避だなあ

つもりじゃないだろうな。

上 そういう質問は、この演習のスポンサー連中にしてみた方が面白いだろう。……労使協調とマーケット拡大の二つの鳥を、アジア再支配の石で組つてる独石資本が、防衛政策の上で当面アメリカへの従属勢力の戰術をとりながら、再軍備の戰略基礎としては、自主的な大日本帝国軍隊の再編成をもくろんでいるのはなぜか。

油谷 そうとも。奴さんたちのよみは、左翼の連中が考へているほど甘くはない。

上 その上で、統一と團結も、より具体的にかためられていて、訳だ。

油谷 というところまでわかつていて……防衛問題研究所かそんなところでウロウロしてお前つて奴が、よくわからんなど。

上 ほくに興味があるのは、事実そのものだけなんですね。ほくに云わせりや、日本赤十字を防衛廳に結びつけるバクチなんだ。

油谷 お前、考へることはないか。かりに、ああいう戦争の挫折がなかつたら、今こらは……

上 さしずめ、閣下で參謀本部付か。……しかしながら、油谷。近ごろのお前のメスのさえは、ちよつとしたブームをおこしているときいたぞ。……いつまで、細菌の世界に恋々してないで折角の臨床外科に徹したらどうなんだ。

油谷 細菌？……冗談じやない、それこそ十八年前の幽いの話だぜ。うがつた憶測をするじやないか。

上 そうか。……ほくは又、あの看護婦さんが、字引きと首つびきで熱心によんでいたパンフレットが……

油谷 パンフレット？

上 あれは、何と訳すんだ。……「細菌染色法に関する新しい考察」か。門前の小僧かと思つた。

油谷 こまるな、妙な解を読まれちや。

上 そういうことだ。お互にスネの傷がいたむからな。

——スライド見え、セクション4、くらくなる。

——白の合唱隊による「民族独立行動隊の歌」。

梶浦 それから彼女たち……彼女たちが、日本の平和を口にするとき、その荒々しさが私の廟をうつ。

——セクション1があかるくなり、市橋。背後に白の合唱隊。

市橋 日本の平和は、「わからない」「意見なし」のかけにねこんでいるところはないわ。戦争を準備する連中も、一方の手で鳩を飛ばしたり、花の種を蒔いたりするわ。……私たちの平和は、目標をもつて生きること、目標のために働くこと、目標をめざしてたたかうこと、その中から生み出すんだわ。

梶浦 たたかいの中から、平和を……

——スクリーン——にスライド、病院ストを中心とした

医療斗争

E そう／たたかいの中から平和を／＼戦争に協力させられた

昔の赤十字の記憶があなたには焼きついているでしよう／＼

ま私たちは平和を守るため／自衛隊との一切の軍事協力に反

対してたたかわなければなりません。

梶浦 災害にあたつて、救護のために看護婦が勤務されるのは

当然。……軍事協力というきめつけ方は一方的におもえる

私に……

A 戰争中あなたのように召集令状一枚でかりだされた看護婦

は十数万人／その同僚の千人以上が戦死しているんですね。

ふたたび硝煙のキナくさくただよう中で一緒に呼ばなければ

／私は二度と従軍看護婦にならない！

梶浦 あなたがたにそんな心配があるものですか、でもお国のおためというあのまっすぐなおもいは胸のここに置きつてのこつている、私の……

B お国のためにおもわせてあなたを従軍看護婦にしたその同

じ手が／聖職だの白衣の天使だの美しい名前のかけでどんなに私たちを搾つているか／病院ばかりデラックスになつて私たちはいつもピイ全力以ナインガールはもうごめんです。

梶浦 患者のために献身するのはナースの最高のよろこび。面映ゆいけれど、献身へのプレゼントと思えば天使とよばれるのが好き、私は……。

C その患者の生命はたたかって守るしかない／月の半分が夜

間勤務で五十人の患者に天使が二人／封建的な階級制度が寮の私生活にまで目を光らせる／病院の民主化、ナースの増員は患者と私たちの切実な要求。

梶浦 たたかうとい、敵とよぶことで、自分の責任から安易に逃げるのはいや。たたかわなければならないものは、まず内部にある、私の……

D 服従していくたたかわなかつたら貧しい患者は殺されるのよ誇張でなく／医療制度、健保制度の改悪で貧しい患者は病院から／医療からしめだされようとしています。／健康で文

化的な生活を保証する筈の政府の手によつて。

梶浦 それは不条理かも知れない。そのことを知らないわけじゃない。……けれどどうできるだろう、私に……

全員 たたかうのよ／たたかうのよ／一緒にたたかうのよ／

梶浦 ……かりに不条理なら、それはいつか通りすぎる。……

もし、通りすぎないとしたら、それは条理として受け入れるしかない。その中で道を開いていくことに……私は馴れてきました。

——スライドきえ、セクション1ぐらくなる。

——セクション2に、油谷。

油谷 それに馴れてきたきみの生き方が、日本の女らしいつましさが、ぼくは気に入っている。好きだ、と云つてもいい。（笑う）……おたがい、顔を赤くしないでこんなことのいえ年になつた。考えてみれば、ずいぶん長いつき合いた。

梶浦　ええ、先生。

油谷　きみはいつもぼくの脇にいる。黙つてぼくの仕事を介助してくれる。……これまで、ずっとそそうだつたね。これからもそうちだらう、とぼくにはおもえる。

——セクション1に、市橋。

市橋　それに馴れた主任さんの生き方が、私には我慢ならない。みていて歎がゆいわ。

梶浦　没頭できるることを選んだので、私はそれに満足しているし、幸福だとおもわなければいけないのよ。

市橋　腐つた不条理の土台へ、いびつに組み立てられた幸福。

市橋　そんなもの、つき崩されなければならないわ。

梶浦　あなたは若い。ときどき美しいな、とおもう。もし、もう十年若かつたら、私もあなたの道を選んだから知れないわね。

市橋　そんな云い方で自分をごまかすもんじやないわ。主任さんは馴れることで、自分の傷を癒着させてきた。現実のきびしさを避けってきた。……だけど馴れることは、死ぬことよ！

梶浦　ひどいことを云うのね……。

——セクション3の隅に、L。

L　馴れていた筈のものが実はそうじやなかつたんだね。ふと氣づいてみたら、足もとにボツカリ空洞があついていた。……

今までの生き方とちがう生き方をはじめなければならないのに気づいたんだね。

梶浦　あれはいつからだつたか。……あなたがもつてきたんです、そういう不安を。

L　悪い病気のように……。

梶浦　そうですとも。そしていつかあなたはとり払つてしまつた。油谷先生の傍にあつた、私の椅子を。黙つておそばで資料をえらんだり、データをつくたりしているだけで心の休まつていた私の椅子を。……おりにふれてあなたにあうのが、私は諭しくもつらくもありはじめた。……でも、私はあなたの目をみつめながら、お話をうかがう。

L　……研究所の中で、日本の防衛体制と日赤について、というテーマが上つたとき、実は頭にあなたのこととが浮んで、そいつはぼくにやらせろみたいな云い方をしまつた訳です。北海道での防災演習で、たまたまお逢いしたというだけのあなたには、奇妙におもわれても仕方がないんだが……。昼間の演習で疲れていた筈のあなたが、「細菌染色法」の新しい資料にくいついているあの姿が、ひどく印象的だつたもんで、失礼。……まず、防衛体制の中の重要なポジションとして、日赤というものがクローズアップされてきたのは単に自衛隊独自の病院、研究機関をもつ予算がない、などということではなく、いわば明治十年以来戦争と不可分に結びついてきた日赤の歴史、組織人事などが、もつとも軍事化しやすい条件を備えているからだということは、たとえばお宅の油谷元大

尉をみればすぐわかる……そうでしょう。

油谷 …… 自衛隊との協力関係をつかまえて日赤の軍国主義化などと云うのは、例によつて左翼のセツカチな論法だね。

…… 考えてごらん、いま全国的な規模での災害がおこつた場合、その救護復旧にあたれる組織が自衛隊以外にあるかね。

医療機関だつてそのとおり、日赤をのぞいてその機能を果せるところはないだろ。…… 非常の場合の救護体制が、強

力に一本化された統制を必要とする以上、誰の手にも当然じやないか、この協力関係……

L …… 記憶しておく必要があるのは、日赤が日本の防衛計画の中に登場してきたのが、朝鮮戦争でのアメリカの敗北の経験からだ、という点です。…… 承知のように日韓会談を何とか成功させて、反共同志のクセに仲のわるい日本と韓国の手を結ばせる、それにだいぶくたびれているが台湾を加えて、北鮮、中共、ソ連さらに東南アジアの民族解放運動に対する軍事同盟を結成させるのは、アメリカの重要な狙いです。勿論日本の防衛担当者の中には、独自な軍事的のプログラムがあるけれど、いまのところ、それはアメリカの要請と大きく矛盾しない、と云つていいでしよう。……

市橋 …… 日韓会談についての解説書?ええ、そりやあるわよ。だけど、それ主任さんが読むの。……へえ、添い書きでも

梶浦 …… 日赤医療団のベトナム派遣は、政府間のとりきめ

で、最初が昭和三十一年ですが、これはアメリカなど六ヶ国の医療団にくみこまれて、避難民の救護活動にあたつたらしいということだけど、人員、氏名それから期間も不明だそうです。元日赤病院看護婦とあるけれど、それは当時現職だったそうです。…… でも、これはみんな組合のうけうり(笑)

う) ……

油谷 …… そう、たしかに血液銀行は朝鮮動乱のとき、G.H.Q.の命令でつくつたものだ。日本人の血が国連軍負傷兵を救つたわけだが、二百〇〇四百円位で買つた血が保存血液になると千六百円一四倍か、製造工程が簡単なんだから相当のボロ儲けだな。…… ベトナム戦争をあてこんで、ひとつブランドバンク株式会社をつくるか。…… しかし、きみ、妙なことに興味を……

L …… それはね、やっぱり若い人達の考えに、僕は賛成しますよ。國民一人一人の戦争責任を追いかけてみても行きつくのは、そういう認識を作つた政治、教育支配思想の問題でしよう。だから、原爆投下者を日本人の負うべき原罪……例のアダムとイブの、その原罪とイコールさせる考えは、質の違うものをつなぐ無駄な試みだけじゃなく、若い人達の云うように平和の敵を喜ばせる……

市橋 …… 日赤救護班の編成については、安保斗争前の国会

で岸も報告しているけれど、いま全国に四四〇班、その他に民間の救護医療班が六千七百班、防災基本法にいう戦争、内乱にそなえて、自衛隊、警察、消防団との協力体制を総の目のように整備しているわけ。……だから日赤が登録年限をつばして、看護婦の召集義務を復活させようとするのは……

油谷 …… 何だつて。朝鮮戦争での細菌兵器の使用？……

さあ、きいたこともないがね。……え？ ああ、あれは調査団そのものが、中立国とはいってもメンバーの多くがヨーロッパでね。鶴のみにできる報告じやない。……それより、ここへかけたまえ。どうした、梶浦君。この頃のきみには、何だか落ちつきがなくなつたようだ。……内々の話、そろそろきみを婦長に、という意見もでるところだ。勿論ぼくも積極的に推すつもりだが……あんまり深入りせんがいいぞ、あいつとは。……あいつ、まさか……

L …… 組合の若い人たちと話すようにしてますか。……

ぼくはねえ、事実そのものは興味もてても、事実を変えること、そのための組織というヤツに失望させられて、もう久しいんだが……この頃、あなたを見ていて、やっぱりそいつが……

L …… それで……国民がそれを知ることで、日本の平和がつよめられるとしたら、ぼくのような生き方も肯定されるでしょ

市橋 あなたは変つた、なんて生意氣云つて叱られたことを憶えているわ。でも、この頃の主任さんで、ほり月江のルージ

ユ貸したげる。もつと若くしていくもうよ、デートには……

L …… もう時間がありません。とにかく、その場所へ時間に行つてくれれば、わかるようになつてゐる。たゞ、渡してくれればいい。……じゃ……

——セクション1、3の隅、4、くらくなる。

梶浦 …… あれは、何だつたのだろう。あの、ベージュ色の袋の中味は。

L (くらい中で) …… それはぼくにもわからない一つのインシアル、AならA。

梶浦 …… 信頼して下さつたのね。

L 別のルートからBが、また別のルートからCが集められて、一連のスベルになつたとき、それは安保条約のもとずく軍事計画の一部として国民の前にバクロされる。

梶浦 …… 愛しているとは云つて下さらなかつた……。

L それが国民の前にあはかることで、この作戦計画をおしえすすめている勢力は、大きい打撃をうける。

梶浦 …… 愛しているから、お前をえらんだのだ、とそう云つていただきたかったのよ……。

H ねえこの連中だよ。

K こりや、ひどいを。

I 殺される、とおもった。そりへ田つきだった、あいつら

B 骨折してないかしら、ね。

K うーん……とにかく呼べよ、宿直の先生を。

D (電話の受話器をかける)……それが、出やしないのよ、

J ャンジャン鳴ってるのに。絶対起きないんだから、まの先生。

梶浦 油谷先生にかけて頂戴。もう帰つてみえてる筈よ。

市橋 いや、油谷先生は……

梶浦 何をいうの。

市橋 あとで問題にされるわ、きっと。……署名もこゝに行つたら云われました。ぼくは安保条約は必要だと思ってる、つて。そんな先生に……

梶浦 子供みたいなこと云つてるときじゃないでしょ。……大事なのは、先生のお考えじゃない、命を助けることのできる医師としての技術です。(電話へ)

A やられなれ、月ちゃん。

市橋 逆だわ。お部屋で署名してくれなかつたの彼女だけ。

A その技術で戦争に協力させられてきたのがわからまんんだから……

C 包帯たのむわ。

E はい。

G 指もやられてる、いたい?

I ほくは大丈夫だけど……きのひとは。

H 相手が女の子だと面白がりやがつて、ヤツら。見てられなくなつて、とびだしまつたんだ、おれ。

D おじさん、これ痛む?

H ツッ:ツツ!

D フーン、手あげてごらん、おじさん。

H ひでて……おじさんおじさんで、俺まだ二十八……あひて

B て。

梶浦 血液型しらべたわね。

市橋 あ、まだ……

梶浦 当然輸血の必要が考えられるでしょう。……それからア

D ナの静注。

B はい。

梶浦 輸血の準備をはやく。

—— 救急車だけたたましいサイレン。

C 自然承認まであと四日。……つぶせないのかなあ。

A デモに入つてゐるときは、すぐ大きくなつて感じましたでしょ、自分たちが。

E そう、とても力強かつた、ウワーッときちゃうの。

C なにが足りないんだろう。

I ゼネストだ。……決定的な力は労働者のゼネスト。そうだろ。

H そりゃもしかねえな。

I そこへもつていぐんだ。……それが新しい条件を生むんだ。

H なかなか、一発で勝負つけちまうって訳にやいかねえもんだよ、学生さん。なにしろ、むこうの土俵ですもうとつてると上に、お前さんたちから見たら薄汚れた荷物一杯しようってるんでね、労働者って奴は。

I じつか一回けじめつけなきやならないんだ。そいつ、こわがってお焼香デモや流れ解散しきらくりかえしたって、岸がピクともするもんか。

H ケジメはつけなきやなるまいよ。じつかは。だけど、そいつは頭だけじゃつかねえな。手足も胴体もくついていかねえとを。

I ダメなんだ、既製の組織だの、統制だの、秩序だのによつかかっていたんじや……

K しかし、それで守られてもいるのさ。それが太かつたら、裸ン坊だから、ほくたち。

I 裸じや斗えないとなんているのは、斗う意志がないんです。そんなことだから自然承認また、これじゃ敗けなんです。

K 敗けかなあ。……かりに一回敗けたとしたって……

H あせりなさんな。おれたちは転んでただ起きるほどねめでたかないよ。……敗けるが勝ちとも云うじゃねえか。

I 敗けるは負けだ。血を流しているんですよ、ほくよ。……どうしてるかなあ、学友たち。

——K、セクション2に行き、ラジオを調節する。

——「先きほどから雨は横をぐるに激しく降り続けています。青いヘルメットが、報道陣のフライヤーに無気味

に光っております……。いま目の前で警官が突進しました。コンボウを振りあげています、アフ、今、首をつかされました。(いま放送中であります)が、警官隊が私の頭をなぐりました。(涙声で)そして私の首っ玉をつかされました。(ウーッといふ救急車のサイレン「検挙しろ、検挙しろ。」という警官の声)向うの方で「検挙しろ」といつております。これが現状であります、さぞか暴力です、この状態、法律も秩序も何もあります、ただ憎しみのみ……」

——セクション4から、G。

G どういうことです、これは……?

G 榊浦さん

I ほく、行きます!

H 待てよ、おじ。

C だめ、だめですったらー

——セクション2へ、L、J。

J この野郎、逃げようたつてー(IKとびかかる。)

I 何をするんだ!

L (Hに) おう、お前も一緒にくるんだ!

G 何です、何です、あんた方、ここ何處と思つてゐんです。

L おじ、その女もそうだ。

J 白ばくれやがつて。…ねえちゃん、起きなー

K 亂暴じゃなーですか。負傷者を逮捕するなんて。

L 病院はここばかりじゃない、警察にも赤チンぐらしあります

すよ。

梶浦 このひとは重傷です、動かすわけにいきません。

L さ、どうたどいた…病院に迷惑はかけたくないからね。

G 病院に迷惑って…デモで怪我した人なの、梶浦さん。

市橋 この人たちの仲間に殴られたんです。

G あんたに訊いてやしません！

梶浦 いま、先生をお呼びしてます。頭の裂傷は縫合の必要

があるし、それより心配なのは脳てう骨折の有無です。もし

そういうことですと…

L そいつの症状をきかせてくれ、と云つてやせん、こいつへ渡しなさい。

梶浦 この患者はお渡できません。

G 困った人を入れてしまつたものね。…どうでしょうか、

今夜一晩だけ、大目に見ていただいて…

A なにが大目ですか。この人が何をしたってひうの。

E そりよ。ナイチンゲールが泣くわ。

J おひ、公務執行防害でひつくくるぜ、クズ クズ云々と…早く起きるんだ、おーー

I やめる、人殺しー

市橋 そりよ、人殺しよー アメリカの犬だ、あんたなんか！

J なんだあ、あさま。

梶浦 市橋さんー

L こいつ、デモへ行ったクチだな。

J 一緒に来い。頭冷してやる。

G 申し訳ありません、興奮してるものですから…私、総婦長ですが、たまたま知らない間に、こんな人を…

L とにかく、容疑者の逮捕にきてるんだ、おとをしく身柄を渡して下さー。

G 仕方がないでしょ、梶浦さん。警察がああ仰云つてぐるのにお渡しなし訳には…ねえ。

梶浦 動かせる患者かどうか、こらんになつて下さー。この娘さんが、どんな悪いことをしたかは知りませんけど、看護婦としては託された生命は守らなければならぬ筈です。

G それは…理屈はどうだけど、こうじう政治的な場合はねえ…

梶浦 戦争中でさえ、中立を保証されている赤十字が、右だと左だとかで同じ日本人の救護をためらわなければならぬんですか。

G あとで責任をとれたら…私の立場つてものを考えてください。

梶浦 赤十字看護婦として、教育を受けたそのままを云つてはありますけれど…もし、この処置がまちがつてしまひ、私が責任はとらせていただきます。

J 泥棒屈はその位にして、どかねえかよー

G 梶浦さん…

D 梶浦さん、

市橋 つれて行くんなら、私たちもみんな一緒に行くわ！

——看護婦たち、Fと梶浦を包む。

H 進退きわまつたね、おまわりさん。

I なに？
H いや、俺は行くよ。まあ警棒で人の頭殴つていじもんか、怪我人の介抱した俺みてえのまで、骨折するほどひっぱたい

ていいもんか、ひてて……岡引きじやなくて、もうちつと偉いのに訊いてみたいから、俺は行くけど……こりゃどうも、困ったね。

L おじ、行こう！

I そのひとをたのみます。ぼくも戦列へ帰るんだ。がんばろ
う、あと四日！

H 四日じゃねえよ、わからねえかなあ……

J 黙つて歩け！

——H、I、J、L、出て行く。

G やれやれ、このまま済んでくれればいいけど。……そりゃ

私だって日赤看護婦の草分けですからね。あなたの云い分が、正しくらいわかりますよ。……だけど、これだけの病院しょっていれば、警察とござさおこすのが、どんなことか、逆ともあなたにはわかりません。しませんとも。……油

谷先生、来てくださると仰云つたんですか。

梶浦 はう。

G どうですかねえ。……油谷先生だって、もしいらしつたら私と同じこと仰云りますよ。きっと。そうじゃなくて？

梶浦 はう。でも、私も同じこと申しあげます、きっと。

G なるほど。……梶浦さん、あんたたちが最後ね、ナイチンゲール精神をしきりおなかにすえて、聖職のプライドをもつた赤十字看護婦とじゅのは。

——D、去る。

市橋 ありがとうございます。……梶浦さんが何故安保反対の署名をしてくれないのが、ずっと不満だったんです。……でも今あなた

はこの人を守るために、体をはつてたたかってくれた。……私わかるようを気がします、行動の中でひとつが変わっていくってこと……

梶浦 たたかつたりしません、私は。患者が誰であれ、守るのはナースとして当然のことでしょう。……市橋さんがどうしてやり方を私に望んでいるか知らないけれど、寮の規則を勝手にやぶつたり、夢中になつてひとを大よはりするのを、はじめてあげようとは思ひませんからね、私は。

市橋 それはちがうわ。寮の規則は私たちを縛る目的でつくられてるし、警察がアメリカや政府の番人になつて、このひとの仲間を殺したのは事実じゃありませんか。

梶浦 それは恐しいことだわ、だけどそれもお互ひの憎しみか

らおこるのよ。あなたのように敵だの、斗いだの云つたら

血をまぐさい不幸な糸をどこで切ることができ。

市橋 私たちが勝つことでだわ。

梶浦 勝てば今度は向うが勝とうとするでしょう、争いの中か

ら平和は生まれません。

市橋 じゃ膝をついて神さまに祈るんですか。……梶浦さんは

家族が全部原爆の犠牲になつたときいています。……それは

殺されたんでしょ、アメリカに。

梶浦 やめて頂戴、その話は。

市橋 いえ、きいてください。私にもきいてもらう権利がある

……私も広島で、母と姉をビカに殺されています。

梶浦 ……市橋さん。

市橋 原爆を落さなくても、もう日本にたたかう力はなかつた

……アメリカは次の目標、社会主義のソ連、アジアの民族解

放運動へむかって、あの二発を落としたんです。

梶浦 それでも戦争をしかけたのは日本です。中国、朝鮮をはじめ多くの国の非戦斗員がその犠牲になつて殺されました。

……私には、ピカは日本人全体に加えられた天罰のようにおもえる。

市橋 日本人全体に？ あの時六つだった私も、その天罰をうけなきやならない。

梶浦 ……。

A 原子爆弾は神さまがおとしたんじゃない。

B 原爆をおとしたのはアメリカ。

C アジアを世界を帝国主義支配の下におくみにくい野望で

ノ残虐な原子爆弾を。

梶浦 その告発ができるのは、あの日六つだったあなたか、日本の戦争に反対した人、指をそめなかつた人、日本が東洋を支配しうるすぐれた民族などをなどと考えたことのない人だけです。

D それはノ日本の支配層が植えつけた思想。

E その思想に歪められたノ国民の責任じやない。

梶浦 震災で朝鮮人を切り殺したのは日本人の父。中国人のナースを輪姦したのも日本人の兄。……それが自分の責任じゃない、と私はいひきれません。

市橋 一億総ザンゲって言葉をきかされたわ。あなたの考えは、戦争で国民を歪めたものの責任をあいまいにしてしまいます。梶浦 ちがう、そんなこと。……私が云つているのは自分のことです。私のうけている天罰のこと……

——電話のベル。Eがてる。

K もしもし、……え、油谷先生がそっちへ？…… わかりま

した。クラシケすぐレントゲンへまわします……

B よがつた！

E もう大丈夫よ、しつかりするのよー

K ええ、ひます、変りましょか。……うん。うん。……はあ、伝えます。おやすみなさい。（受話器をおいて）……梶

浦さん、総婦長から年のかげんで度々すれしてましたつて、あんたが主任看護婦を命ぜられるそうだ。明日発令される筈だが、おめでとうつことです。

梶浦 …… 愛しています、あなたを！

——セクションのあかりが消える。

——音楽。

——手術室の人々、セクション2へ。

H お気の毒でした。

——舞台くらくなる。

——セクション2にスポット、白の合唱隊

第七景

——スライド、「昭和四十年夏、梶浦キクはサイゴン行きをもとめられる」「日、朝、日韓基本条約調印、ソウルのデモ。

E そして／あの朝がやつてきます／昭和二十年よみがえった平和をたしかめるすべも忘れた虚脱のあの日から／恰度二十年。

D その八月／韓国国会は六月東京で調印された日韓条約の批准を／朴政府の銃剣の力で強行……

C それはことし二月／ベトナム北爆以來ぬきさしならなくなつた／アメリカ軍事侵略に対する最後のカンフル……

B 同時に／日本の政治経済軍事上のアジア再支配の出発を意味するものとして／ようやくたかまりつつある……
A 日韓条約批准阻止の斗争の中で／全日赤労連は日本赤十字と戦争つながりをバクロし／医療労働者の団結／平和のための統一したたたかいをよびかけています。

——セクション2くらくなり、4あかるくなる。電話とかかっている梶浦。

梶浦 …… 日赤医療団が、どこですか。……まあ、いいえ、何も伺つておりません。……口止めなどされていました

んけれど、そういうことですと、私どもでは……もうそろそろ、ご出勤になりますが……さあ、それは直接先生にどうぞ。ごめん下さい。（電話をきり、しばらく考へているがやがてデスクの整理にかかる）

——セクション2あかるくなる。D、D、E。

C 両方とも三本立て、じや、六本みたわけ？
E 五本半よ、錦之助のは途中からだから。でも、あつもの筋とこつちの筋とくつついちやつて、ゴチャゴチャ。おまけに頭はボーッとしてくうし……

C あきれた。辛いよ、今日の勤務。

D でも、たまの公休、うんと羽のばしとかなぎや、だもんね。寝だめ、食いだめ、映画も見だめ……

C 同じだめでも寝だめはだめ。……三十時間連勤つづけて減った体重、なかなかとりかえせやしない。

D 大体、まかないがひどいよ。切干し、さつまあげ、アジの干もの……絶対肥らないつて点じや、美容食なみだもん。

E ああ、やっぱりトンカツ食べちゃえはよかつた。……食堂のウインドウのぞくでしょ、ボーケカツ二十五〇円、たまたまおごつちやえつて入るでしょ、注文とりにくるでしょ、

D 深刻な食いもののウラミを理事者へ！
C そうそう、ピクピクしないでトンカツたべられる賞金を！

——A、B、市橋

A お、いいセンいつてるじや。

D いまの話、執行部にきかせときたかつたわ、きくも涙、語るも涙、白衣の天使残酷物語……

C 脣色わるいよ、月ちゃん、連續夜勤？

市橋 おととい、前立腺の手術で入った患者さん、奥さんが、あの二日あと、家族をさがして広島へ行つたんだつて。今になつて白血病の徵候がでてつていうのよ、それだけのことだ。

E だつて、二十年でしょ、もう。

市橋 いたわられちやつた、大事にしなさい、ハラハラしますりこわいわねえ。

A そんな風に云われると嬉しいね。……重患とアフターオペが五人、空が白んでくると、助かつたと思うけど……

C はやく寝た方が勝ちだよ。

E うちの部屋、午前中カラツボだから使つていいわ。

——I。

I あ、いたいた、どうなつた、従軍看護婦のあれ……

A 何でしたつけ、従軍看護婦つて。

I 心ばそいな、本にするんで募集してゐからつてたのんだろう、従軍看護婦の手記。

A 忙しいんです、なにしろ先生がたに追いまくられて、ね。

I そういうなよ、こっちだつて只働きの穴埋めでヒーヒー云
わされてるんだ。……どうだらう、梶浦女史あたりに書い
てもらつたら。

市橋 従軍看護婦の手記を出版するの？

I 日韓条約や三矢作戦の問題も、安保体制に応じたあたらし
い従軍看護婦をつくるうとしている中味でつたえないと、軍
事化反対のたたかいになりにくくし……

B C 従軍看護婦にあこがれてるの、若い人汇も多いのよ、先生。
B あこがれるつて程じやないけど、こないだ油谷先生から戦
争中のお話をいて……面白かつたわね。

E F うん。油谷先生のオベツつて意味があるでしょ、三船敏郎と
仲代達矢、一緒にしたみたいな、ニヒルな、ね。

D 私は部長先生の方が好き。同じメス使つても、ご自分の体
あけるようなあなたかみがあつて。

C それで、クランケの評判、油谷先生の方がいいのね。

I どちらにしろ、従軍看護婦にあこがれるなんでもつての他
だぜ。

B 看護学生のころ、考えていたのとあまりちがうんですもの。
ナースの生活つて。油谷先生の介助してる梶浦婦長みて、
と、何だか美しいわ。

I だめだな、やっぱり早く出版してよませないと。

市橋 梶浦婦長のカソリック的な戦争否定じや、運動の力にな
らないでしよう。……恋愛の相手の影響で一時傾向よく
なりかけたんだけど、その人が亡くなつてからまた……

A 油谷先生と切れなきやダメよ、彼女。

C だつて、婦長になれたのも、油谷先生のカゲの力だつても
の、ねえ。

F 東都新聞のこと

F 東都新聞のこと

A 東都新聞？ 何だらう、月ちゃん。

市橋 さあ……睡くて思考能力、ゼロ。

—— A、I、市橋、去る。

—— 油谷。

全 おはようございます。

油谷 もう、一時金の皮算入か。

C 戦場討議です。

B わ、きれいなタリア。

油谷 はら、壁室に飾りたまえ。女性の職場にしては殺風景だ
よ、ここ。

D 花より団子ですもの、先生。

E 油谷先生とダリア、か。

油谷 おかしいかね、とりあわせが。外科医必ずしも酒天童子
という訳でもないさ。

—— ブザー。

—— 一年おこなわれ……

油谷 この病棟だつたな、午後の手術は……（セクション4

B 三十八一九年にはアメリカ軍当局からの派遣要請を／医療労働者と民主領体の反対でストップさせましたが……

（）
C 国民の自から掩いなくしたところで／低開発国援助／熱帯風土病研究、また日本人技術者への隨行などの名目で……

D すでにいくつかの医療団を／大学病院民間病院からおくり出している事実は……

—— セクション2、くらくなる。

梶浦 お早ようございます。

油谷 花瓶があつたね、たしか。

梶浦 いて参りましょう。

油谷 きみの部屋にも挿しとくといい。

梶浦 さつきお電話がありました、東郷新聞からなんですけれど。……日赤医療団が南ベトナムへ派遣されるそうだが、

（）
D 本当にかつて。

油谷 なに新聞？

梶浦 東郷新聞です。……存じませんと云つておきました。

油谷 そう。（去りかける梶浦）そのこと、誰とも話しておらんだろうね。

梶浦 はい。（去る）

油谷 （電話）……部長室。

—— セクション2にスポット、白の合唱隊。

—— 梶浦。

A 南ベトナムへの日赤医療班の派遣は／最初昭和三十一年一

油谷 んむ…… んむ…… わかりました。では、のちほど。

(電話をきつて) ……この暮まで花もいじつていられなくなるので、切つてきだ。

梶浦 いらっしゃるのですか。ベトナムへ。

油谷 うちからは、きみと二人だ。

梶浦 ……私も。

油谷 こつちへ掛けないか。……いま、きいたところでは、昨夜の部長会議も一致してきみの派遣に賛成したそうだ。もつとも、ぼくの方からそうしてもらいたいと強く要請しておいたからだろうが。……それで、よかつたんだろうね。

梶浦 ……

油谷 ……なんだか浮かない顔付きたな。……きみならと勝手に判断したんだが、予定でもあつたのか。

梶浦 いえ。……いつなんでしょう、出発。

油谷 上京するメンバーを待つから、一週間から十日位あとかな。……病院の方は今日できつてもらおう、支度金もあるし……ああ、云い忘れたが、支度金が十万とか十五万とか：いや十五万というのは一ヶ月分の手当だったか、なにしろ、そういうことだ。

梶浦 まあ、先生つたら……

油谷 そつちだつて、金のことでの色衰える方でもなからう。

梶浦 いいえ、そろそろ、養老院行きの断念をと考えているところです。

油谷 変つたね。朝鮮動乱のときは、支度金から断金まで洗いざらい……む、失敬失敬。

梶浦 お気使いいりません、もう古いことですわ。

油谷 十五年になるね。

梶浦 うちに入つてくる准看護婦のほとんどが、随後の生まれですもの。

油谷 平和ぼけもするわけだ。

梶浦 平和……なんでしょうか、これが。

油谷 別のよび方をすれば、戦争と戦争のきれ目かな、とにかく二十年、日本はそいつに巻きこまれずにきたんだから。

梶浦 ベトナムの戦争のグラフを見ました、筋をつけられて、いるその顔が、ドキッとするほど日本人にそつくりで……多くのアメリカ人だつて、平和をのぞんでいるんでしようだ。

油谷 個人の意志じゃどうにもならんのさ。中ソの軍事同盟が日米安保条約をつくらせる、それが、中ソ論争ともからんで中共の核実験になる、その連鎖反応がベトナム戦争になり、日韓条約に発展する。……隣眼のないイタチごつこだ。

梶浦 人間ひとりひとりに、本当に平和が根柢くということは、考えられない夢なんでしょうか。……先生、浮かない顔つて仰云ましたわね。

油谷 うむ。

梶浦 私、よくわからなくなつています。ベトナムへ行くのは本当に正しいことでしょうか。……先生の防疫医学、伝染病医薬が、お志に反して罪もないあの人たちを殺したり傷つけたりする結果になつたら……

油谷 そんな、馬鹿な……。

梶浦 それでも、朝鮮動争のとき、細菌兵器がつくられ、使われたことをお尋ねしたら、先生はじめお信じになりませんで

したけど……

油谷 あれは、C.B.R.へこつちの提供した資料を例のジエムスたちが勝手に流して……だからぼくは腹をたてたんだ。伝染病予防対策のデーターを、そういうことに使うなんて、科学者の純粹な気持をふみにじるも甚しいじやないか。

梶浦 あのとき、私も国連軍は、朝鮮の戦争を終らせる平和のための軍隊と信じていました。それだけに、あんな非人道的な兵器を使うなんて……ショックでした。でも先生今度おいでになればサイゴンに新しくできたC.B.R.の分所と連絡とりになるんでしよう。

油谷 駕百まで、顕微鏡のそきはやめられんが、ぼくも今じやレツキとした外科医ですよ、勿論そのプロバーとしてよばれているのだ……十五年前には、ぼくも若くて軍医あがりという周囲の目にに対する反撃もあり、韓国行きで約束された新しいポストにも魅力があつてとびついたのだが……もうそんな年でもなし、たゞ、アメリカ人であれ、ベトナム入であれ、具体的に人間の生命が失われている状況の中で、来てくれといわれればやはり医者だからね。……ことに、自分の意志でなかつたにせよ、利用されて犯した朝鮮でのあやまちをつぐなうとしたら、それは行くことで果すべきじやないか……どうだろう？

梶浦 ……

油谷 今朝、この花をきりながらね、サイゴンにこそ、朝鮮でまきつけた平和の花を咲かせたい、柄にもないことを考えてね。……いろいろの誤解を生むかもしれないが、戦争とい

う、人類の罪をあがなうためなら怖れず巡礼として旅立ちた
い。……どうかね、いわばダマスクスへの道連れになつて
くれるかね。

梶浦 ご一緒させていただきます、先生。

——セクション4くらくなり、2にスポット、白の合唱隊。

B ファシストも平和を口にする！

D ファシストも花について語る！

C ファシストも戦争を罪とよぶ！

B ファシストも後悔をよそおう！

A ファシストも道連れをほしがる！

E だまされるな／甘いことばに！

F だまされるな／甘いことばに！

G だまされるな／甘いことばに！

H だまされるな／甘いことばに！

I だまされるな／甘いことばに！

J 友好と善隣の名でつくるのは／軍事同盟……

K だまされるな／甘いことばに！

L だまされるな／甘いことばに！

M 真実は／ベトナムをしめ殺すため……

N だまされるな／甘いことばに！

O これ以上手をかさないで／婦長さん！

P だまされるな／甘いことばに！

Q だまされるな／甘いことばに！

R だまされるな／甘いことばに！

S だまされるな／甘いことばに！

T だまされるな／甘いことばに！

U だまされるな／甘いことばに！

V だまされるな／甘いことばに！

W だまされるな／甘いことばに！

X だまされるな／甘いことばに！

Y だまされるな／甘いことばに！

Z だまされるな／甘いことばに！

—セクション2くらくなり、4あかるくなる。油谷、H

J、G。

J 朝鮮動乱にさいして、献血運動、野戰病院開設などでわが

日本赤十字社の果した人道的役割については、改めて申しあげるまでもない。当時のリッジウエイ司令官から感謝のメッセージを頂戴する光栄に浴したことを想起すれば足りる訳で

すが、強調しておきたいのは、現在、日赤運営上の財政基盤になつてゐる特別社員として、大企業大手会社を迎える入れる方針が、この対米協力によつて確立されるにいたつたという点です。

H なるほど。今回の医療班派遣も、そのテコ入れという訳ですな。

J そう、單に期間中の治療活動といつたことではなく、ベトナ

ム政府軍病院への技術援助、米軍野戰病院の設置——いまとこる埼玉のジョンソン基地の公算が大きいのですが、その他韓國看護婦の日本での教育……いろいろ期待されています。

……政府としても、懸案の日韓条約事件を、秋の臨時国会では是が非でも成立させるよう、要請されているし、本社としても、それまでには協力内容の目録をつけておきたい……

H 来たようですね。

——梶浦。

H 掛けなさい。内輪ばかりだ、堅くならんで……今度はごくろうさまだね。本社の方からは、比較的若いがんばりのきく外科系の婦長という注文でね、その上、思想堅固な人という条件も付帯しているもので、当の油谷先生に相談したと

J あなたなんか、そのとほして歩いた方じやないのかね。

G 絶対ですものね、油谷先生のこのひとへの信頼は……あれは単なる医師とナースの関係じやないなんて憶測もとんでね。

J あなたなんか、そのとほして歩いた方じやないのかね。
G ご冗談を。ナースといふものは、恋愛だの、結婚だの、俗社会のよろこびを超えて、はじめて一人前になるんですね。……けれど、名譽なことよ、梶浦さん。大東亜戦争から朝鮮事変、そして今度のベトナム動乱と三つの戦争に従軍できるなんて。……もう少し若ければ、私もはりあうんですがねえ。

J そそう、うちの報道部長も云つていたが、後代の日赤をつぐ人々のためにも語りついで赤十字看護婦の指標にしなければ、ということだろうね。

H ひとつ、奮起してもらうんだな、梶浦君。なにしろ、国際的な注目の中で、日本医学の技術水準の高さをしめすときだからな。

J それそれ、ある意味で日本をしょつている。白衣の外交官ということでもあるのだからね。

G 同時に、赤十字病院の名譽もしょつていることを忘れずにね。
H しかも、サイゴンのCBRとの協力の結果によつては、油谷先生ばかりじやない、きみの出世も約束されているんだからね……

梶浦 CBR……それは、先生……

油谷 具体的な指示を、どうぞ。午後から手術をひかえている
ので。

H では梶浦君、これは当座の支度金ということです。

G 十万円もねえ。私たちのときは手当が百五十円でした。せ
つかく貯金してもお金の値打ちが落つこつたんではどうにも
なりませんわねえ。

J この金を会計の窓口からお渡ししないことでもわかるよう
に、こんどの南ベトナムへの医療団派遣は、秘密にされてい
る……

H そう、秘密……

G そう、秘密……

——スポーツが梶浦をとらえる。

梶浦 ……秘密にされている……二十年前もそれは秘密に
されていた。十五年前も、二年前も。平和のためなのに、ヒ
ューマニズムのためなのに、それはいいこととの筈なのに。……
国民の一部が反対するから、組合が騒ぐから、赤が利用する
から。……疑いもしないでそう信じてきたけれど、だつた
らなぜOBAが、あの黒い噂につつまれた相模原の四〇六部
隊が……先生は否定なさつた……しかし、朝鮮戦争のときも、私
がきいたのは否定のお答えだつた。……ねえ、あ
なたが生きていて、こうしろと教えて下さつたら……

音楽。

——セクション4の前にスポット、五。

L きみは、相変わらず過去と向きあつて生きているね。

梶浦 おつしやつて。もう、まちがつた道は歩きたくないわ。

L ほくの前は行き止りだ。ここからは道の行く手は見えない。
梶浦 あなたには教えることができないの。

L それができるのは、生きているあの若い人たち……いつ
か、そのことを話した。生きている人たちの中へ、たたかつ
ている人たちの中へ行きたまえ。よかれあしかれ、未来はある
の若い人たちのものだから。

——セクション4の前くらくなり、1あかるくなる。市橋

F、E、K。

I 医療団全体の規模は、外科二、泌尿器科一、皮膚科一、看

護婦二ということらしい。

K たしかなんだろうな。

E うちからの二人のこと。

K それもだけど、東都新聞のニュースソースそのものがさ。
市橋 この場合、火のないところに煙はたたない、と考えた方
が正しいんじやなくて。……朝鮮戦争のとき百人近い日赤
看護婦が慰員された事実も、やつと最近バクロされたんだし
単純な嘘とは考えられないわ。

E ……油谷先生と梶浦婦長、部長室から出てきたところバ
ンだよ。

K じや、きめよう。まず組合として正式に質問をだすこと。

質問の内容は、日赤医療団を南ベトナムに派遣する事実の有無、その中に当病院の職員が……

F もよと、梶浦婦長よ。

I ここへ来るのか。

F らしいよ。

K 何だろう。

——梶浦。

梶浦 あ、会議？

F 何のご用？

梶浦 え。……市橋さん、脱けられないかしら、ちょっと。

市橋 私、夜勤あけですけど。

梶浦 いえ、しことのことじやなく、すこしお話が……

市橋 あとにしてくれません、会議なんです、ここ。

梶浦 そうね……じや、ごめんなさい。(去る)

F 何かさぐりに来たのかしら。

K あんたに相談もつてきたのとちがうか。

市橋 相談て？

——セクション2にスポット。日の合図隊。

A 追いかけなさい！
B つかまえなさい！

——機銃掃射と爆裂音。

C 話をききなさい！

D 相談にのりなさい！

E なぜ／立たないの！

F 重要な会議だから……

G 彼女は傾向がよくないから……

H 第一つかれてるから……

I 逃していく／向うへ追いやつていいの／仲間を！

J 追いかけなさい／市橋月江！

——セクション1、2、くらくなる。

——セクション4あかるくなる。手術中の油谷、H、梶浦。

E、Bも介助につく。

——「愛國行進曲」「

——「スライド」、「アジアの平和のために！」日、真、日

本軍の残虐行為

——ジエット機の爆音。

——「スライド」、「アジアの平和のために！」日、真、米

軍の残虐行為。

——スライドー、「アジアの平和のために!」『』、『』、『』、『』
ベトナムの惨状。

梶浦 もうやめて! (耳をおおつて崩おれる)

梶浦 説明していただいてもダメです、先生……
油谷 子供みたいな駄々をこねるもんじやない。……ことわ
るなんてことができるものか。

——舞台くらくなり、完全な静寂。
——スライドー、「平和のために!」「殺せ!」の文字が
交錯し、『』、『』、『』、殺すものと殺されるもののCの交錯

梶浦 馬鹿などとを……

梶浦 先生! 本当にやです・怖いんです・おことわりしてくれ
ださい。お金はお返します。

油谷 おい……まさか組合の奴らに、あの市橋たちに話した
んじやなかろうな。

梶浦 あの人たちは聞いてくれませんでした。

油谷 じや話しに行つたというのか。……なるほど、そういう
う裏切りをしようとしたんだな。……二十年間、可愛がつ
てもらつた、などと甘つたれ口を叩くかけで、その俺の首に
縄を巻きつけていたという訳か。

梶浦 そんな……ちがいます、先生。罪をあがなう巡礼の道
が、また罪をかさねる戦争の道にならないようだ。……先
生の本当に望んでいらっしゃる平和の道を、私も一緒に歩き
たいから、一生けんめい考えて……

油谷 誰がたのんだ、そんなことを。……俺に必要なのは、
考えたりするきみじやない。

梶浦 先生、きいて下さい! あの日、私は朝鮮の女人を殺
前で殺し合ひに巻きこまれないように……

油谷 落ちつきなさい。さつき部長の話に出た〇日本は、単純
な伝染病予防のためのセクションという意味だし、実際、〇

B.R.そのものは、名前の通り生物、化学、放射線の研究機関
としてすべてオープンにされていて、調査されるような秘密
部隊じゃない……

第八景

してしまつたのです。モルヒネを注射して。……その時は、自分でもすぐ……でも、とうとう死にきれずに、戻つてきたのです。……生きるかぎり、つぐないをしなければならないのです、先生！

油谷 ぼくが助けようとした、あの女をか……「悪しき薬を用いることなく、又これを知りつつ、人にすすめざるべし。」つぐないたかつたら、黙つてついてくるんだ。（去る）

——舞台くらくなる。

暗い中でアナウンス。「梶浦婦長、梶浦さん、部長室へおいでください。……」

——舞台あかるくなる。セクション4IC、油谷、H、J、I、K。セクション2に、A、B、C、D、E。

——Aは電話にかかっている。

A ……勿論、それは確認とつてから……うん、うん、派遣ときまれば、玄関前に宣伝カーまわしてもうつて、反対のアツビール……

——市橋、セクション2へ。

市橋 ね、梶浦婦長みなかつた？

B 手術室でさつき、貧血おこして……

A あ、月ちゃん、梶浦婦長のさ……

市橋 第四病棟行つてみたんだけど、いないのよ。

B 私たちで、仮眠所へつれて行つたんだけど……

市橋 どこへ行つたんだろう……

A 月ちゃんなら、これ労連からだけど……どうだつて、質問への回答。

市橋 待つて、あとで……

A 労連の宣誓カードから、ジャンジャン暴露しろっていう

んだよ。

市橋 だから、彼女つかまえて、真かに漁らせるんだ、連中の前で。……そのことを云いに来たにちがいないんだから、午前中。(去る)

E カツカしちやつてら。

B 何だか、気の毒みたい、婦長さん。

A なに云つてんのさ……ベトナムへ行くなんて、アメリカ帝国主義の侵略に手をかすことなんだよ！……もしもし、その婦長の口から直接云わせようつて……うん……うん。

D だけど、彼女が行かないと、その百万……

C 何、あれ？

E なに……？

B C ん、何だか……

C おーいつて呼んだみたいな声が……

D E A なに云つて呼んだみたいな声が……

J 空耳ですよ、ねえ部長。

H うん。……しかし、遅いね。

油谷 ……(出で行きかける)

G オセクション4へ。

F オセクション2へかけこんでくる。

G ……油谷先生、ちょっと。

油谷 む……？

F 大変よ、大変……梶浦婦長が……

A どうしたの？

F 落ちたの、四階の非常階段から……

——市橋、セクション4へ。

池谷 梶浦君が本館から落ちたそうです。即死……ということです。

A 自殺……？

F わからない、そんなこと……コンクリートに血が……
(顔をおおう)

C 自殺ね、きつと。

D だつて、なぜ。

A もしもし……そうなんだ。とにかくあとでまた……行

E じう！
B 婦長さん、もうやめて！ つて。何だつたとおもう。

D どうしたの？

E 婦長さん、もうやめて！ つて。何だつたとおもう。

J 自殺……ですか？

H なんとも、困つたこととしてかしてくれたもんだねえ。

I そんな云い方つてありますか！

K おい、行こう！

油谷 待ちたまえ、検死がすまんうちに、めつたなこと云つてもらつてはこまるよ。自殺なんかする苦ないんだ。理由もな

いのに。

市橋 理由がないですって、油谷先生。

油谷 きみの方に……組合としておもいあたる理由があるといふのが。たしかに、ベトナム行きなどという想像の産物で彼女を問いつめて、異常な心機高進をおこさせた、と云えなくもないからな。

K そんなことはないです。あのひと、組合へは来たけれど、何も話さないで帰つたのです。

H 何も話さなかつた……

J そりやそりやだらう。話すことなんかある筈がないんだ。

I 話したかつたんだ、きつと。……だのに、話せなかつた。油谷 で、その話したかつたのが、ベトナム行きの一件だつたというわけか。おそれいつた推理力だね。……しかし、これできみたちの質問も回答が得られた筈だよ。

市橋 先生！ 先生を憎みます、私。

油谷 スペードのクインに裏切られたようだな、市橋君。……小細工にやひつかからんと云つたのを憶えているかね。きみらの相手は、目にみえるより少しばかり……いや、はるかに強大だよ。

市橋 だから、私たちが尻尾をまくとお思いですか。

油谷 忠告しとこう、業務命令の拒否で追いつかれてるうちに、おとなしく勤務につきたまえ。（出で行く）

——舞台くらくなり、市橋と、セクションの櫻浦の死
体にスポット。

市橋 あのひとは死んでしまいました。……いま私には、私

があのひとを死なせてしまつたーという胸をしめつけられるおもいがあります。……勿論、そんな馬鹿なことはない、とも云えます。人間の生命を守る医療を、戦争に結びつけてきた日本帝国主義。それに培われた、日本赤十字の陰惨な伝統を、侵略と圧制の野望に利用する、アメリカ帝国主義と日本

の反動支配が、あのひとを殺したことはまちがいありません。……けれど、まちがいたいそのことを百万辺云つてきかせたから、まちがいないそのことを千万枚のビラでながしだから、私の責任は問われない、といきれるでしょうか。あのひとは死んでしまいました。それはめざめなかつたあのひとの罪への、当然の罰でしようか。……戦争の悪をくみ、平和を求め、生きることにまじめであろうとつとめたあ

のひとに、私は、こう向きあつてきました。……戦争と平和の本質があなたにはわかつていなし。階級的な観点をヌキにして、いくらまじめでもそれではだめ、そんな生き方は敵を喜ばせるだけ。思想がひくい……わかるうとしない！自分だけを大事にしてる！ 一緒にたたかおうとしない！

……私は正しかつたんです、とても……だのに、あのひとは死んでしまいました。そして、戦争の悪をにくみながら、それがなぜおこされるかわからないひと、平和をもとめながら、敵のつくりだす偽りの平和に息しているひと、生きることにまじめであろうとつとめながら、私たもと断絶していふひと、櫻浦キクたちが私のまわりにいるのだとしたら、胸

をしめつけられるこのおもいを、私はどういう力にかえていかなければならぬのでしようか。

——舞台前景に、白と黒の合唱隊。

H 梶浦キクはいる／無数に！

I A 私のまわりに／私の中に！

I ぼくのまわりに／ぼくの中に！

J 全 梶浦キクはいる／無数に！

K B やさしいあたたかい心をもち……

L C F 敵をにくむ前に自分を貢め……

M J G 精一杯生きる人間／日本中の梶浦キク。

N D E けれど／その梶浦キクが許して／敵を！

O S そう／その梶浦キクが助けて／敵を！

P E G 敵がわからないから／敵が見えないから！

R K L そして敵がわかつたとき／おれたちは彼女を失つた！

T L どうする／市橋月江！

U 全 どうする！

V 市橋 敵がわかつたとき、黒い機構にくみこまれることを、自

W らの死で拒んだあのひと、梶浦キクが、無数にいる——とい

X の？

Y H そうとも／それが仲間を信頼するおれたとの流儀だろう！

Z F そして未来を夢見る私たちの樂天性／あやまちにへこたれ
ないで！

G しかも／私たちは梶浦キクの死を勇敢に否定する／あなた
の目を明日の方向へ！

I 仲間につたえろ／重要なのは一つ／敵に勝つこと！

J 全 敵に勝つこと！

K J そのため敵を知れ／ヤツらの黒い機構のアキレスけんは
どこか！

L K そのため武裝しろ／頭のテツベンから足の爪先まで！

M L 全 足の爪先まで！

N L 重要なのは一つ／敵に勝つこと！

O ——スライド、一、二、三、「日韓条約」批准反対のデモ
P ——音楽。

Q A そのため／あなたと私は……

R B あなたと私は／梶浦キクを……

S 市橋 梶浦キクをたたかいの輪に入れる。それが、今必要なこ
T と。

U C 戦争をにくみ／平和をもとめる……

V D 平和をもとめる／やさしい梶浦キクたちの……

W 市橋 梶浦キクたちの心魂をかたいキズナで結ぶ。それは、今
X 可能なこと。

Y E F それを日本中に／かそえきれない輪にひろげ……

Z G 日本の平和は守れる！

H

おれたちの生活と権利は守れる！
ベトナム人民の解放の斗いは守れる！

I

J アメリカを日本からアジアから叩きだせる！

K

戦争につながる日韓条約は葬れる！

L

M そのために／明日ではおそい……

N

O 市橋 今夜から、敵にうちかつ行動に！

P

Q 白全 立ちあがろう！

R

S 黒全 立ちあがろう！

T

U 全 立ちあがろう！

幕がおりる。

